

令和5年度
子どもの読書活動実態調査アンケート
調 査 報 告 書

令和6年（2024年）2月

加古川市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 回収状況	1
II 調査の結果	3
1. 子どもの読書活動の実態	3
(1) 読書に対する意識	3
(2) 読書量	4
(3) 本を読む理由、読まない理由	5
(4) 図書館の利用状況	7
(5) 家庭での読書環境	12
(6) 家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関	19
(7) 電子書籍の使用状況	27
(8) 電子書籍の登場による読書活動実態の変化	28
2. 子どもの読書活動に対する保護者（就学前の子どもをもつ保護者）の意識	30
(1) 子どもの読書活動の意義に対する認識	30
(2) 家庭での読書環境	32
(3) 保護者の子どもの読書活動に対する意識および読書状況と読み聞かせ実施状況の相関	34
(4) 公共図書館に望むこと	40
(5) 子どもの読書活動の推進を図るうえで最も重要なこと	41
(6) はじめまして絵本事業の認知状況	43
3. 調査結果まとめ	46
III 資料	49

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

加古川市の子どもたちを取りまく読書環境を充実させていくうえで指針となる「子どもの読書活動推進計画（第4次）」の策定にあたり、加古川市の児童、生徒および保護者に対し、読書に関する意識や読書実態を把握するため、この度「子どもの読書活動実態調査」を実施した。

2. 調査概要

- ・調査対象：＊市立小学校の児童および市立中学校の生徒
＊市内県立高等学校に通学する生徒
＊市立加古川養護学校に通学する子どもの保護者
＊市立幼稚園、市立保育園、市立認定こども園に通園する5歳児の保護者
＊市内公共施設利用者のうち未就学児の保護者
- ・調査期間：令和5年6月26日～令和5年7月31日
- ・調査方法：配布、回収またはGoogleフォームにて実施

3. 回収状況

対象		対象人数	回答数	回収率(%)
小学校（28校）	1年生	430	410	95.3
	2年生	487	422	86.7
	3年生	464	428	92.2
	4年生	480	453	94.4
	5年生	536	507	94.6
	6年生	580	530	91.4
	合計	2,977	2,750	92.4
中学校（12校）	1年生	172	157	91.3
	2年生	155	128	82.6
	3年生	164	120	73.2
	合計	491	405	82.5
高等学校（6校）	1年生	77	77	100.0
	2年生	78	78	100.0
	3年生	76	67	88.2
	合計	231	222	96.1
児童・生徒合計		3,699	3,377	91.3
養護学校	保護者	52	34	65.4
幼稚園・保育園・認定こども園	5歳児保護者	402	322	80.1
子育て施設・図書館(室)	未就学児保護者	250	249	99.6
保護者合計		704	605	85.9
総合計		4,403	3,982	90.4

Ⅱ 調査の結果

※調査結果の比率について

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- グラフ中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査の結果

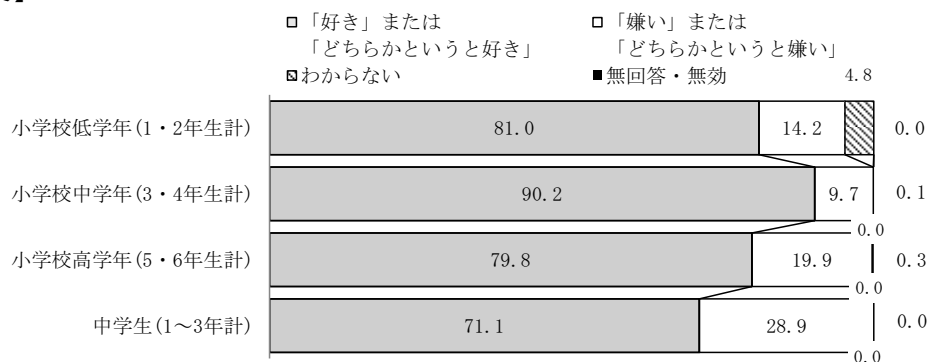
(高校生については平成 26 年度は調査なし、令和元年度は
図書館来館者のみを対象)

1. 子どもの読書活動の実態

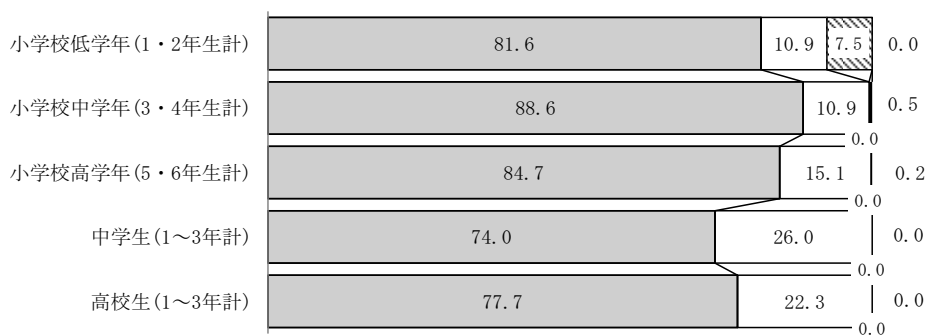
(1) 読書に対する意識

「読書が好きか」との問いに対する回答の割合の学年別比較 (%)

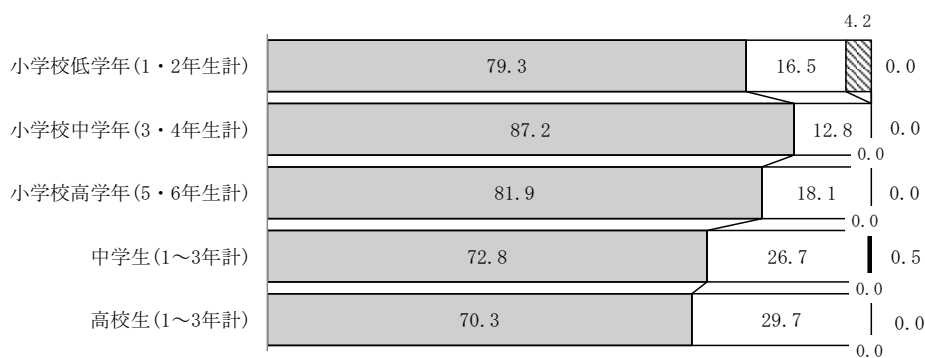
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】



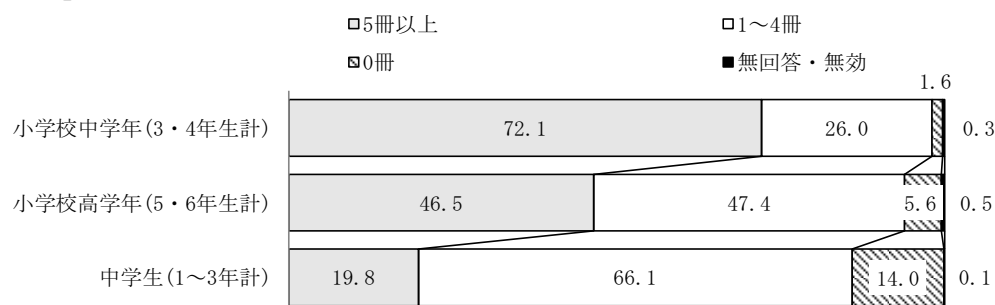
「読書が好きか」について、すべての学年において「好き」または「どちらかという好き」の割合は70%を超えている。「好き」または「どちらかという好き」の割合は学年が上がるにつれて減少傾向にあり、小学校中学年が87.2%であるのに対し、高校生は70.3%となっている。

経年で見ると、すべての学年において「好き」または「どちらかという好き」の割合が令和元年度から減少し、小学校中学年は平成 26 年度から減少している。

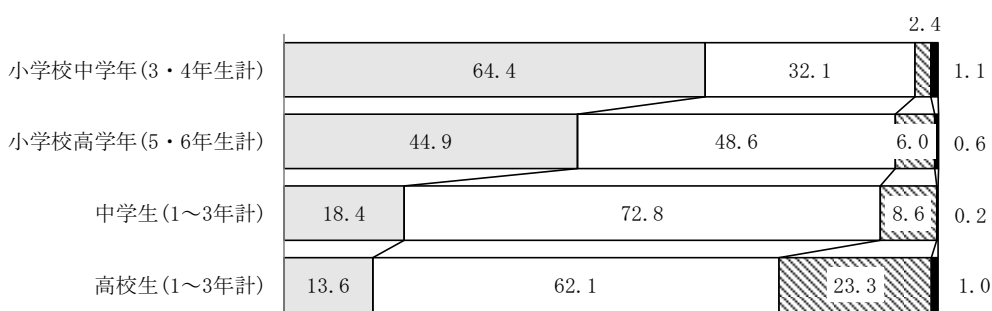
(2) 読書量

1ヶ月の読書冊数の割合の学年別比較（％）

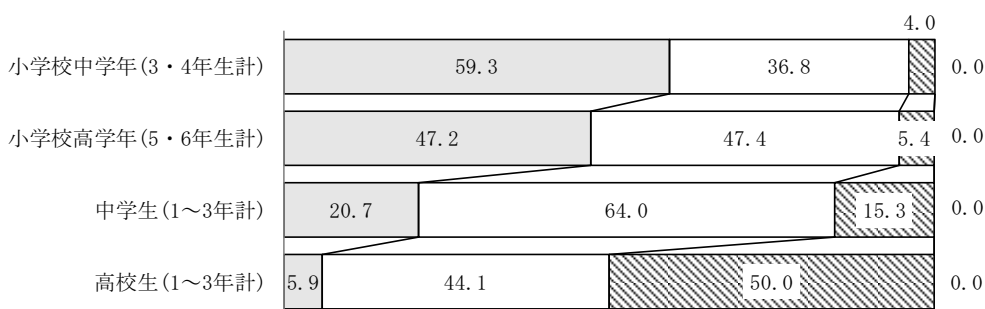
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】



「1ヶ月に読む本の冊数」について、「5冊以上」の割合は学年が上がるにつれて減少し、小学校中学年が59.3%であるのに対し、高校生は5.9%となっている。一方、「0冊」の割合は学年が上がるにつれて増加し、小学校中学年が4.0%であるのに対し、高校生は50.0%となっている。

経年で見ると、小学校中学年において「5冊以上」の割合が平成26年度から減少し、令和元年度からは5.1ポイント減少している。また、中学生において「0冊」の割合が令和元年度から6.7ポイント増加している。

(3) 本を読む理由、読まない理由

本を読む理由、読まない理由の学年別比較（％）

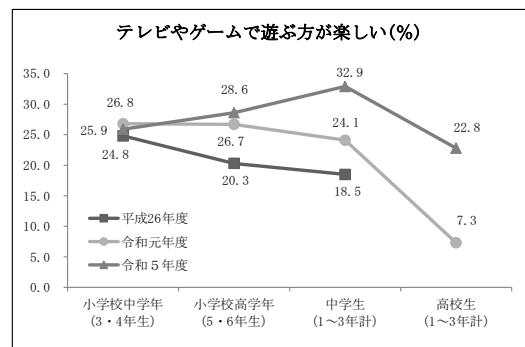
平成26年度	読む理由（上位3項目）		読まない理由（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	読むのが楽しい	56.1	スポーツをしたりする方が楽しい	36.1
	いろんなことがわかる	35.5	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	24.8
	先生や家の人に言われる	3.4	読みたいが勉強や習い事で読む時間がない	14.7
小学校高学年 (5・6年生計)	いろいろ想像するのが楽しい	51.8	スポーツをしたりする方が楽しい	38.6
	新しい知識を得ることができる	21.8	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	20.3
	自分の考えが広がったり深まったりする	12.7	読みたいと思う本がない	11.6
中学生 (1～3年生計)	いろいろ想像するのが楽しい	51.3	スポーツをしたりする方が楽しい	27.9
	新しい知識を得ることができる	19.8	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	18.5
	自分の考えが広がったり深まったりする	14.9	読みたいと思う本がない	18.1

令和元年度	読む理由（上位3項目）		読まない理由（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	読むのが楽しい	54.7	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	26.8
	いろんなことがわかる	34.2	スポーツをしたりする方が楽しい	22.8
	先生や家の人に言われる	1.8	読みたいと思う本がない	14.6
小学校高学年 (5・6年生計)	いろいろ想像するのが楽しい	48.2	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	26.7
	新しい知識を得ることができる	24.0	スポーツをしたりする方が楽しい	21.5
	自分の考えが広がったり深まったりする	10.3	読みたいと思う本がない	13.1
中学生 (1～3年生計)	いろいろ想像するのが楽しい	51.7	スポーツをしたりする方が楽しい	24.7
	新しい知識を得ることができる	16.9	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	24.1
	自分の考えが広がったり深まったりする	9.9	読みたいと思う本がない	10.2
高校生 (1～3年生計)	いろいろ想像するのが楽しい	53.2	読みたいが勉強のため読む時間がない	29.3
	自分の考えが広がったり深まったりする	19.4	スポーツをしたりする方が楽しい	24.4
	新しい知識を得ることができる	14.5	読みたいが部活動のため読む時間がない	14.6

令和5年度	読む理由（上位3項目）		読まない理由（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	読むのが楽しい	54.0	スポーツをしたりする方が楽しい	28.6
	いろんなことがわかる	38.8	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	25.9
	先生や家族に言われる	1.7	読みたいと思う本がない	14.1
小学校高学年 (5・6年生計)	いろいろ想像するのが楽しい	39.4	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	28.6
	新しい知識を得ることができる	33.6	スポーツをしたりする方が楽しい	25.5
	自分の考えが広がったり深まったりする	11.7	読みたいと思う本がない	18.6
中学生 (1～3年計)	いろいろ想像するのが楽しい	45.6	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	32.9
	新しい知識を得ることができる	21.6	スポーツをしたりする方が楽しい	21.9
	自分の考えが広がったり深まったりする	15.2	読みたいと思う本がない	18.1
高校生 (1～3年計)	いろいろ想像するのが楽しい	51.9	テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい	22.8
	自分の考えが広がったり深まったりする	22.1	読みたいが勉強のため読む時間がない	15.2
	新しい知識を得ることができる	11.7	読みたいが部活動のため読む時間がない	14.5
			読みたいと思う本がない	14.5

「本を読む理由」について、小学校中学年は「読むのが楽しい」(54.0%)、小学校高学年、中学生、高校生は「いろいろ想像するのが楽しい」(各 39.4%、45.6%、51.9%)の割合が最も多くなっている。経年で見ると、すべての学年において平成26年度、令和元年度と上位3項目の順位は変わっていない。

一方、「本を読まない理由」について、小学校中学年は「スポーツをしたりする方が楽しい」(28.6%)、小学校高学年、中学生、高校生は「テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい」(各 28.6%、32.9%、22.8%)の割合が最も多くなっている。経年で見ると、すべての学年において平成26年度、令和元年度と上位3項目の内容は変わっていない。

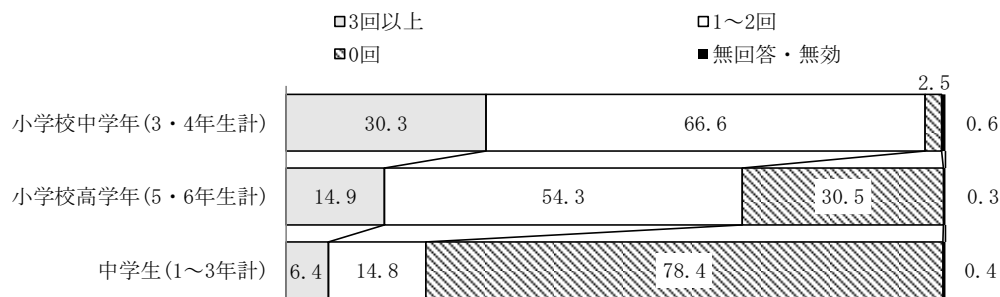


(4) 図書館の利用状況

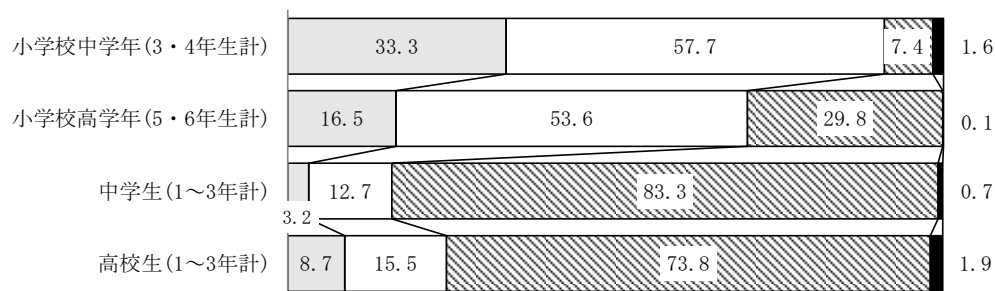
① 学校図書館

1 週間の学校図書館の利用状況 (%)

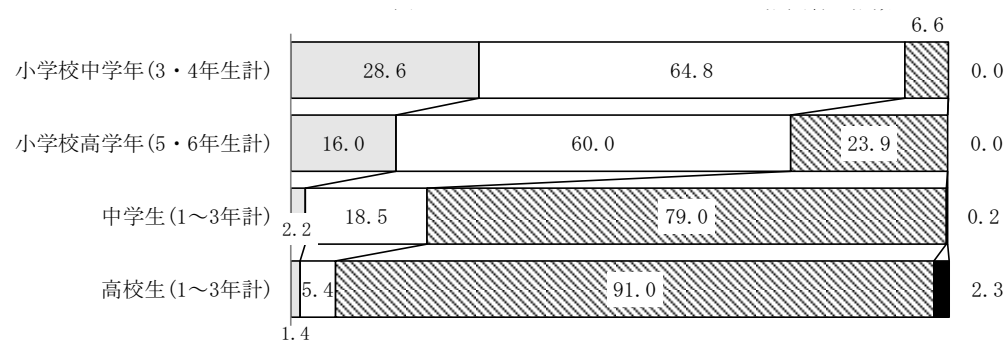
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和5年度】

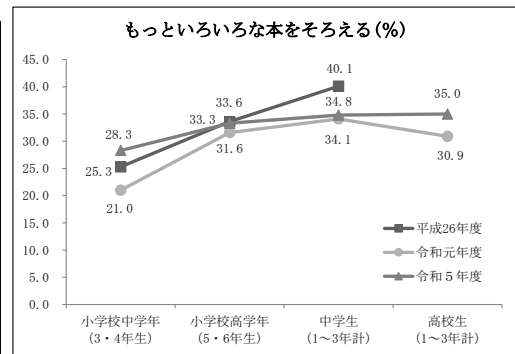


「1 週間の学校図書館の利用状況」について、「0 回」の割合は学年が上がるにつれて増加し、小学校中学年が 6.6%であるのに対し、高校生は 91.0%となっている。また、小学校中学年と小学校高学年において「1～2 回」の割合が最も多く、60%を超えている。

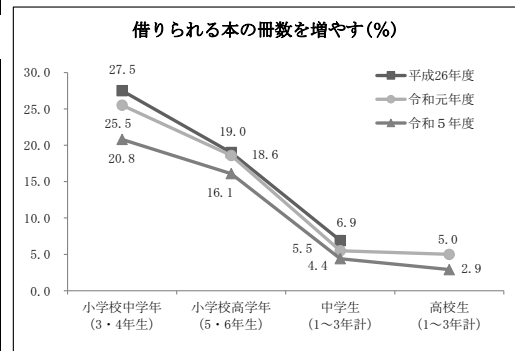
経年で見ると、高校生を除くすべての学年において「週 1～2 回」の割合が令和元年度から増加している。また、高校生を除くすべての学年において「0 回」の割合が令和元年度から減少し、小学校高学年は平成 26 年度から減少している。

学校図書館に期待することの学年別比較（％）

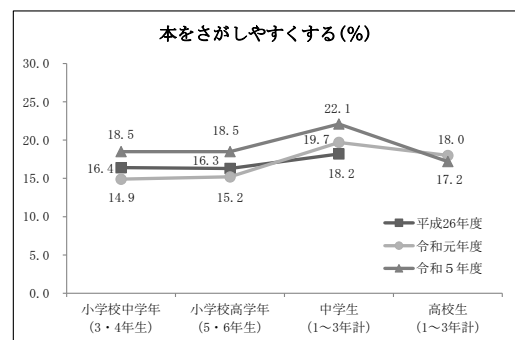
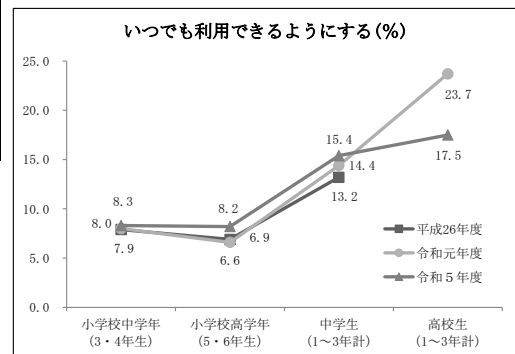
平成26年度	読む理由（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	借りられる本の数をふやす	27.5
	もっといろいろな本をそろえる	25.3
	本をさがしやすくする	16.4
小学校高学年 (5・6年生計)	もっといろいろな本をそろえる	33.6
	借りられる本の数をふやす	19.0
	本をさがしやすくする	16.3
中学生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	40.1
	本をさがしやすくする	18.2
	いつでも利用できるようにする	13.2



令和元年度	読む理由（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	借りられる本の数をふやす	25.5
	もっといろいろな本をそろえる	21.0
	本をさがしやすくする	14.9
小学校高学年 (5・6年生計)	もっといろいろな本をそろえる	31.6
	借りられる本の数をふやす	18.6
	本をさがしやすくする	15.2
中学生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	34.1
	本をさがしやすくする	19.7
	いつでも利用できるようにする	14.4
高校生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	30.9
	いつでも利用できるようにする	23.7
	本をさがしやすくする	18.0



令和5年度	読む理由（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	もっといろいろな本をそろえる	28.3
	借りられる本の数をふやす	20.8
	本をさがしやすくする	18.5
小学校高学年 (5・6年生計)	もっといろいろな本をそろえる	33.3
	本をさがしやすくする	18.5
	借りられる本の数をふやす	16.1
中学生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	34.8
	本をさがしやすくする	22.1
	いつでも利用できるようにする	15.4
高校生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	35.0
	いつでも利用できるようにする	17.5
	本をさがしやすくする	17.2



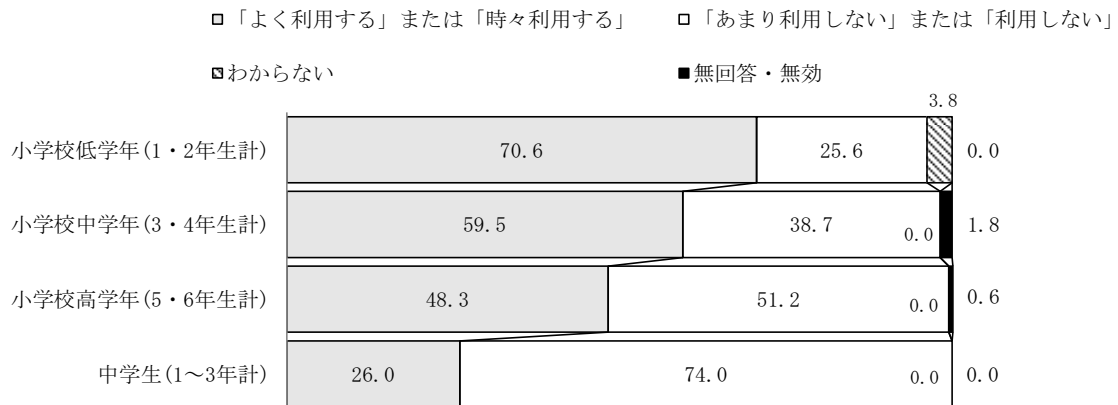
「学校図書館に期待すること」について、すべての学年において「もっといろいろな本をそろえる」（各 28.3％、33.3％、34.8％、35.0％）の割合が最も多くなっている。「もっといろいろな本をそろえる」の割合は学年が上がるにつれて増加し、本の種類の充実を求める声が多くなっている。

経年で見ると、すべての学年において平成26年度、令和元年度と上位3項目の内容は変わっていない。

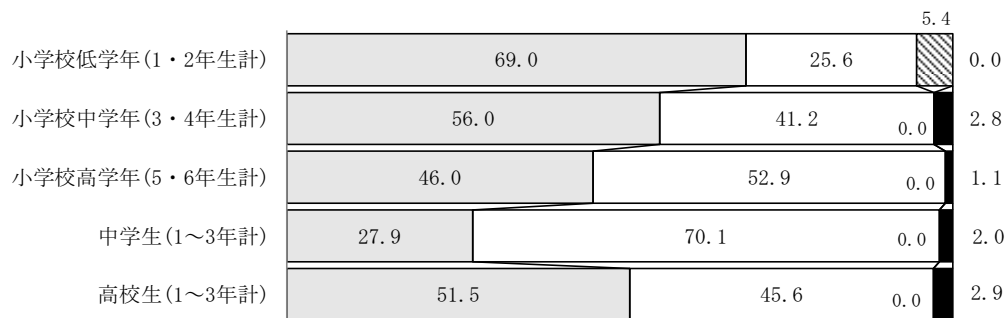
②学校以外の図書

学校以外の図書館の利用状況（％）

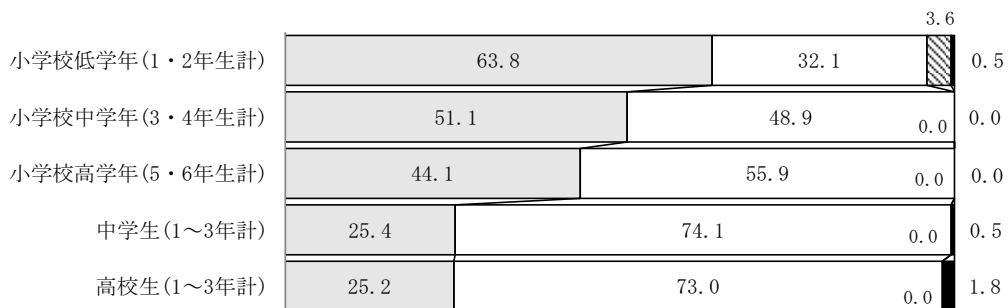
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

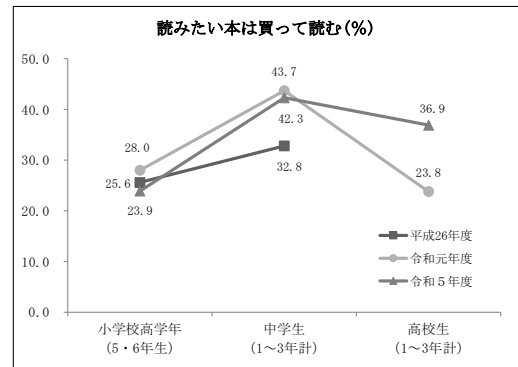


「学校以外の図書館の利用状況」について、「よく利用する」または「時々利用する」の割合は学年が上がるにつれて減少し、小学校低学年が 63.8％であるのに対し、高校生は 25.2％となっている。

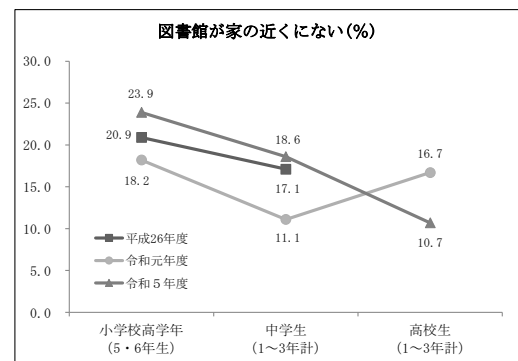
経年で見ると、すべての学年において「よく利用する」または「時々利用する」の割合が令和元年度から減少し、中学生を除くすべての学年は平成 26 年度から減少している。

学校以外の図書館を利用しない理由の学年別比較（％）

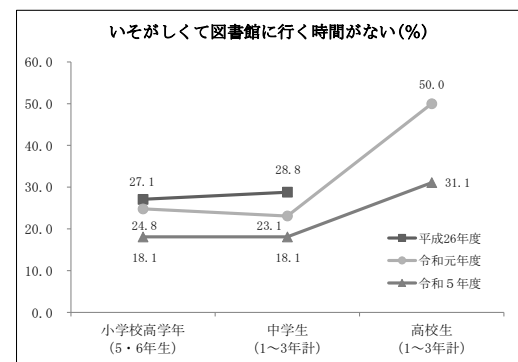
平成26年度	利用しない理由（上位3項目）	
小学校高学年 (5・6年生計)	いそがしくて図書館に行く時間がない	27.1
	読みたい本は買って読む	25.6
	図書館が家の近くにない	20.9
中学生 (1～3年計)	読みたい本は買って読む	32.8
	いそがしくて図書館に行く時間がない	28.8
	図書館が家の近くにない	17.1



令和元年度	利用しない理由（上位3項目）	
小学校高学年 (5・6年生計)	読みたい本は買って読む	28.0
	いそがしくて図書館に行く時間がない	24.8
	図書館が家の近くにない	18.2
中学生 (1～3年計)	読みたい本は買って読む	43.7
	いそがしくて図書館に行く時間がない	23.1
	図書館が家の近くにない	11.1
	図書館に読みたい本がない	11.1
高校生 (1～3年計)	いそがしくて図書館に行く時間がない	50.0
	読みたい本は買って読む	23.8
	図書館が家の近くにない	16.7



令和5年度	利用しない理由（上位3項目）	
小学校高学年 (5・6年生計)	図書館が家の近くにない	23.9
	読みたい本は買って読む	23.9
	いそがしくて図書館に行く時間がない	18.1
中学生 (1～3年計)	読みたい本は買って読む	42.3
	図書館が家の近くにない	18.6
	いそがしくて図書館に行く時間がない	18.1
高校生 (1～3年計)	読みたい本は買って読む	36.9
	いそがしくて図書館に行く時間がない	31.1
	図書館に読みたい本がない	13.9



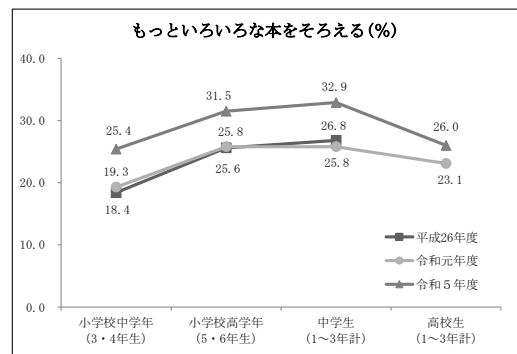
「学校以外の図書館を利用しない理由」について、小学校高学年は「図書館が家の近くにない」と「読みたい本は買って読む」（各 23.9％）、中学生と高校生は「読みたい本は買って読む」（各 42.3％、36.9％）の割合が最も多くなっている。

経年で見ると、高校生を除くすべての学年において平成 26 年度、令和元年度と上位 3 項目の内容は変わっていない。

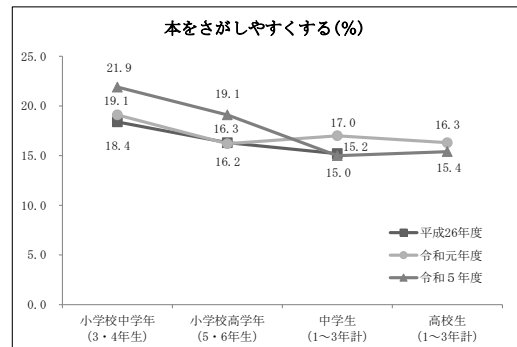
しかし、小学校高学年では、「図書館が家の近くにない」の割合が増えており、図書館利用についての理解を深めるため、保護者への啓発の必要性がうかがえる。

学校以外の図書館に期待することの学年別比較（％）

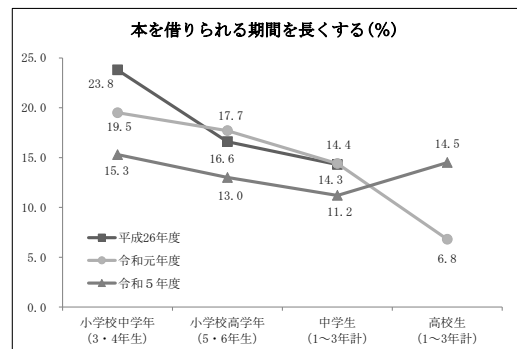
平成26年度	期待すること（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	本を借りられる期間を長くする	23.8
	もっといろいろな本をそろえる	18.4
	本をさがしやすくする	18.4
小学校高学年 (5・6年生計)	もっといろいろな本をそろえる	25.6
	本を借りられる期間を長くする	16.6
	本をさがしやすくする	16.3
中学生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	26.8
	本をさがしやすくする	15.2
	本を借りられる期間を長くする	14.3



令和元年度	期待すること（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	本を借りられる期間を長くする	19.5
	もっといろいろな本をそろえる	19.3
	本をさがしやすくする	19.1
小学校高学年 (5・6年生計)	もっといろいろな本をそろえる	25.8
	本を借りられる期間を長くする	17.7
	本をさがしやすくする	16.2
中学生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	25.8
	本をさがしやすくする	17.0
	本を借りられる期間を長くする	14.4
高校生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	23.1
	調べ学習の手助けがしてもらえる	18.4
	本をさがしやすくする	16.3



令和5年度	期待すること（上位3項目）	
小学校中学年 (3・4年生計)	もっといろいろな本をそろえる	25.4
	本をさがしやすくする	21.9
	本を借りられる期間を長くする	15.3
小学校高学年 (5・6年生計)	もっといろいろな本をそろえる	31.5
	本をさがしやすくする	19.1
	本を借りられる期間を長くする	13.0
中学生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	32.9
	本をさがしやすくする	15.0
	本を借りられる期間を長くする	11.2
高校生 (1～3年計)	もっといろいろな本をそろえる	26.0
	本をさがしやすくする	15.4
	本を借りられる期間を長くする	14.5



「学校以外の図書館に期待すること」について、すべての学年において「もっといろいろな本をそろえる」（各 25.4％、31.5％、32.9％、26.0％）の割合が最も多くなっている。

経年で見ると、高校生以外のすべての学年において平成 26 年度、令和元年度と上位 3 項目の内容は変わっていない。

(5) 家庭での読書環境

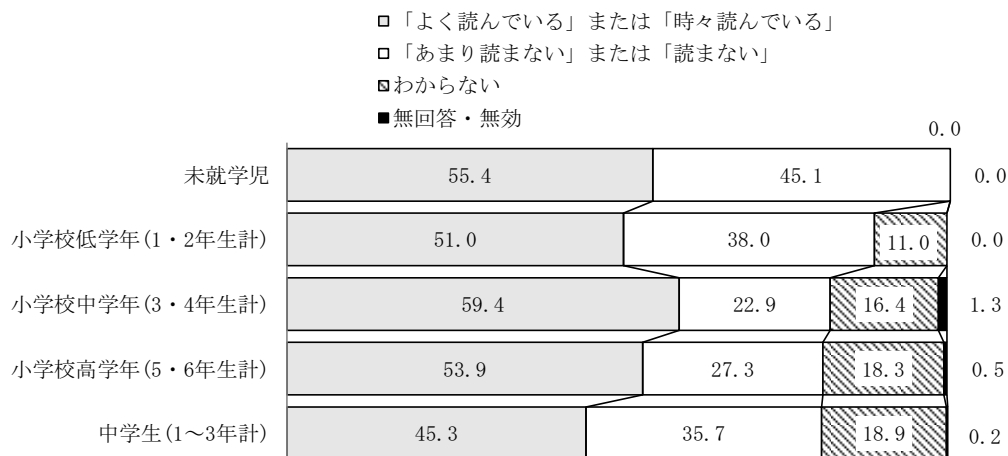
家庭での読書環境として、

- ①「家族はふだんから本を読んでいるか」(全員)
- ②「家族に本をよく読んでもらうか」(未就学児、小学校低学年)
- ③「小さいころに家族に本をよく読んでもらったか」(小学校中学年以上)
- ④「家族と本のことについて話しをすることがあるか」(小学校高学年以上)
- ⑤「家族に本をよく読むように言われることがあるか」(小学校中学年以上)
- ⑥「家に自分の本を持っているか」(小学校中学年以上)

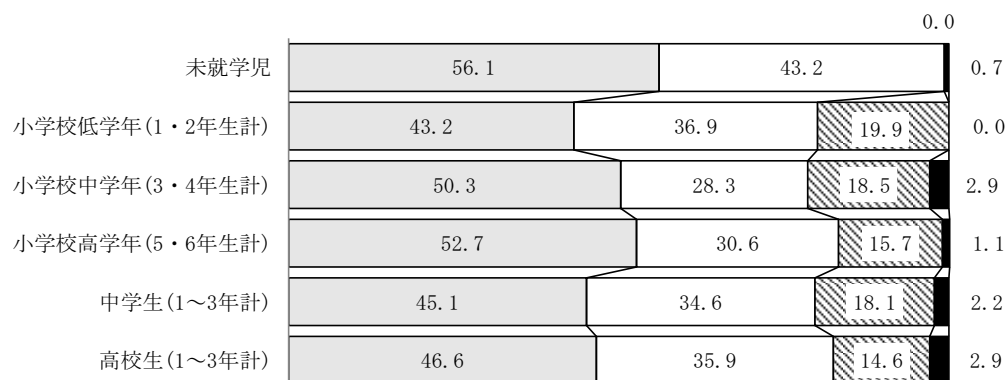
について聞いた。

①家族はふだんから本を読んでいるか(%) (全員)

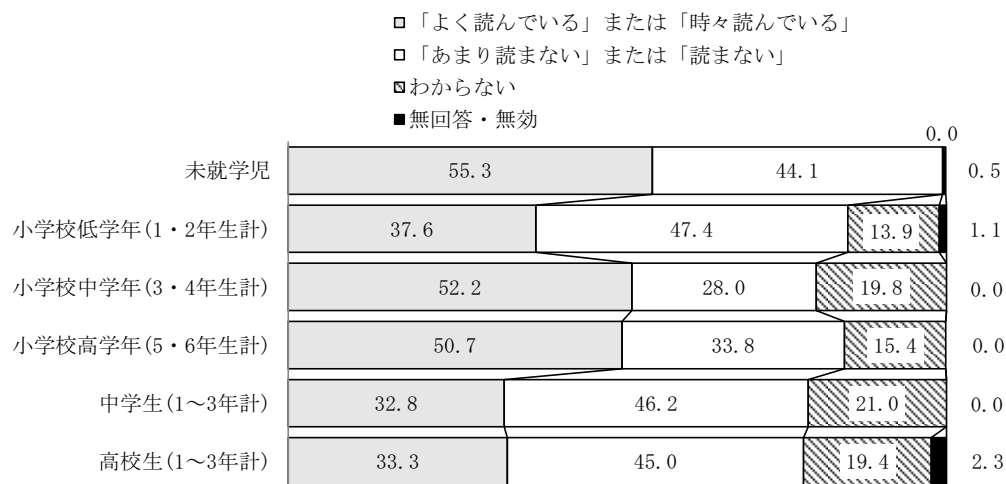
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和5年度】

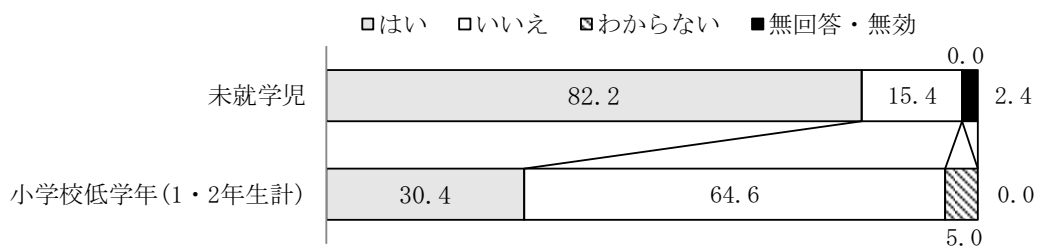


「家族はふだんから本を読んでいるか」について、未就学児、小学校中学年、小学校高学年において「よく読んでいる」または「時々読んでいる」の割合が50%を超えているのに対し、小学校低学年、中学生、高校生は30%台に留まっている。

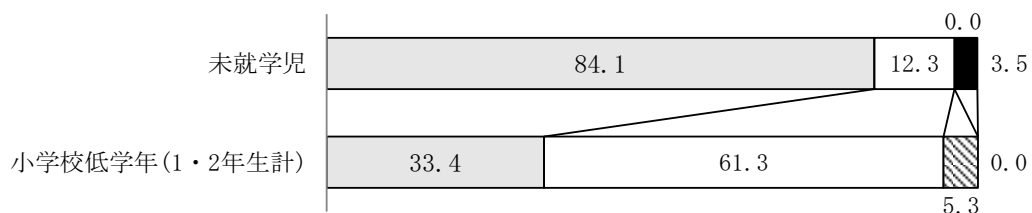
経年で見ると、小学校中学年を除くすべての学年において「よく読んでいる」または「時々読んでいる」の割合が令和元年度から減少し、小学校低学年、小学校高学年、中学生は平成26年度から減少している。

②家族によく本を読んでもらうか（％）（未就学児、小学校低学年）

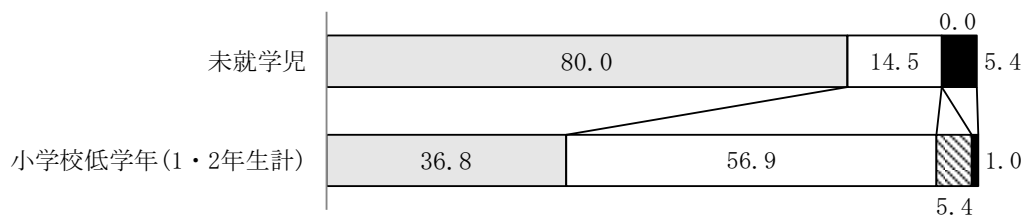
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

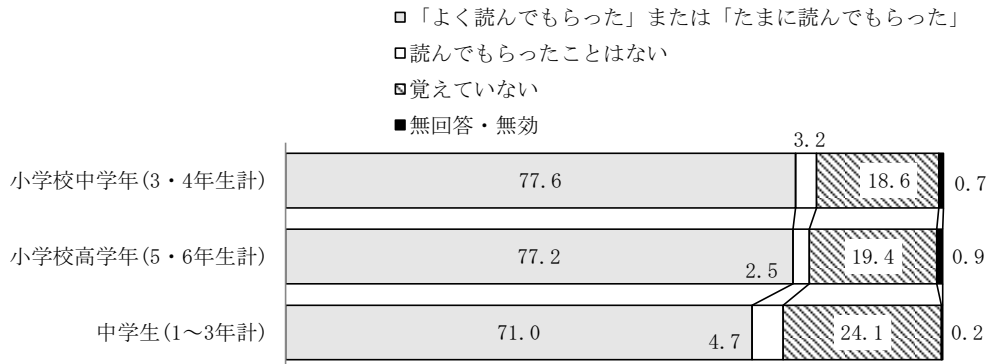


「家族によく本を読んでもらうか」について、「はい」の割合は未就学児が 80.0%であるのに対し、小学校低学年は 36.8%となっている。

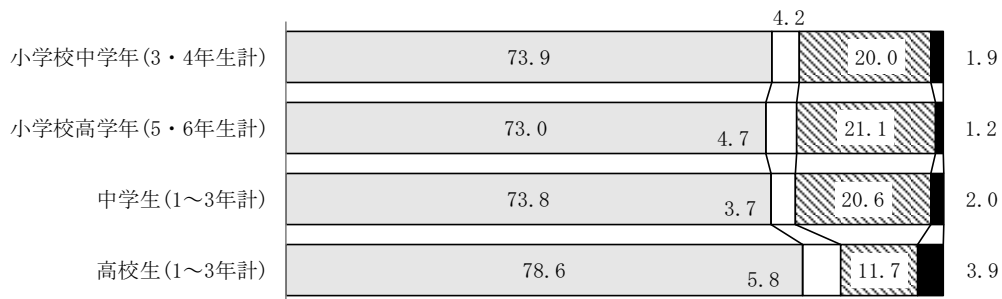
経年で見ると、未就学児において「はい」の割合が令和元年度から 4.1 ポイント減少している。一方、小学校低学年においては平成 26 年度から増加している。

③小さいころに家族に本をよく読んでもらったか（％）（小学校中学年以上）

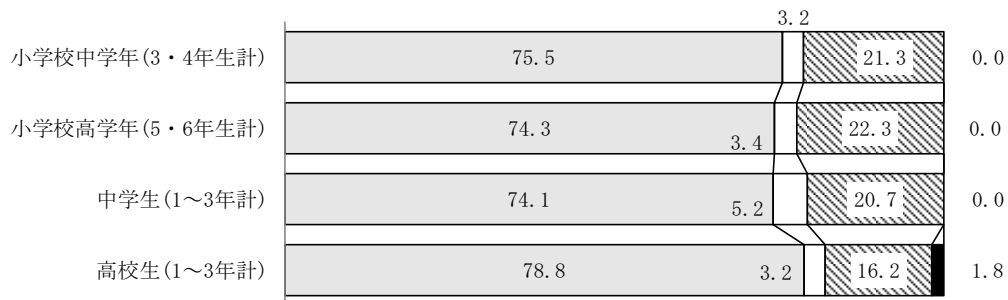
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和5年度】

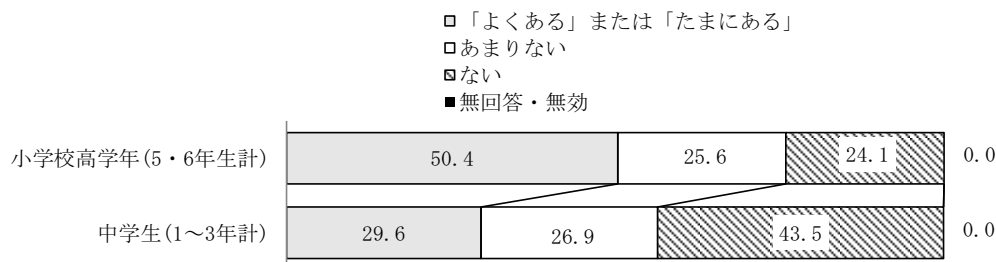


「小さいころに家族によく本を読んでもらったか」について、すべての学年において「よく読んでもらった」または「たまに読んでもらった」の割合は70%を超えている。

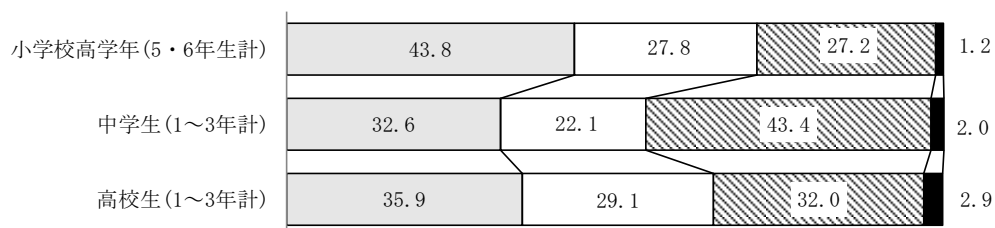
経年で見ると、すべての学年において「よく読んでもらった」または「たまに読んでもらった」の割合が令和元年度から増加し、中学生は平成26年度から増加している。

④家族と本のことについて話しをすることがあるか（％）（小学校高学年以上）

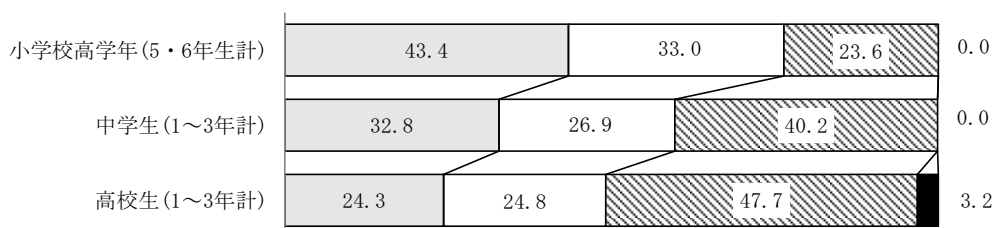
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

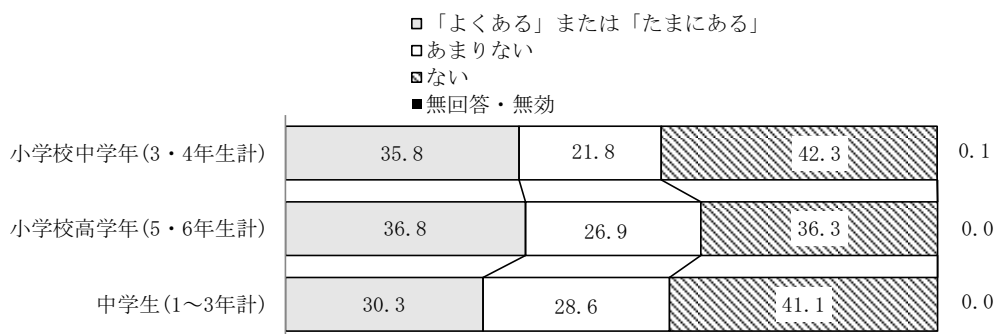


「家族と本のことについて話しをすることがあるか」について、「よくある」または「たまにある」の割合は学年が上がるにつれて減少し、小学校高学年が 43.4％であるのに対し、高校生は 24.3％となっている。

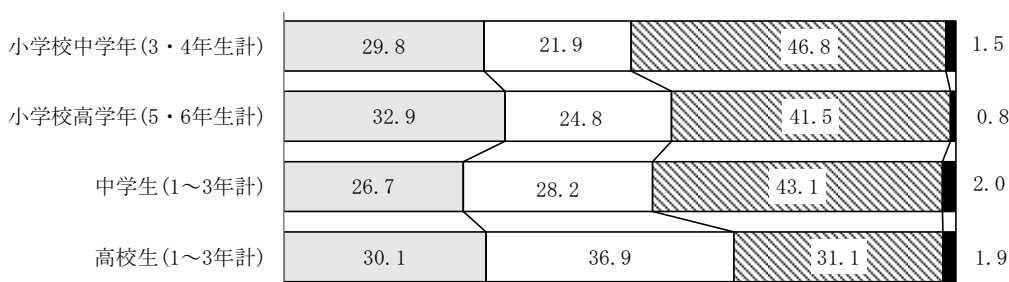
経年で見ると、小学校高学年において「よくある」または「たまにある」の割合が平成 26 年度から減少している。一方、中学生においては平成 26 年度から増加している。

⑤家族に本をよく読むように言われることがあるか（％）（小学校中学年以上）

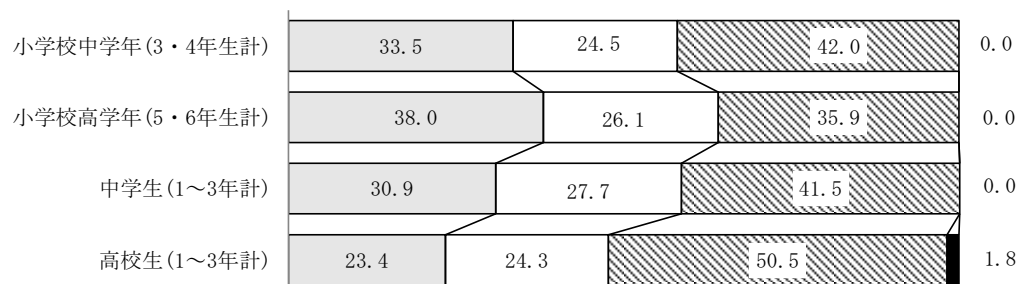
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

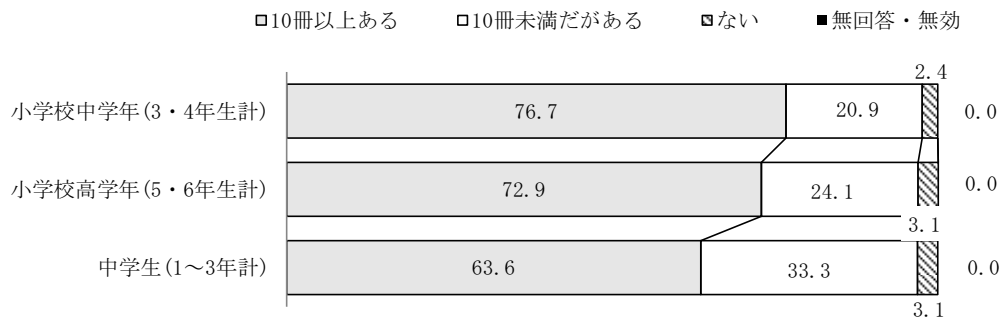


「家族に本をよく読むように言われることがあるか」について、「よくある」または「たまにある」の割合は学年が上がるにつれて減少傾向にあり、小学校高学年が 38.0%であるのに対し、高校生は 23.4%となっている。

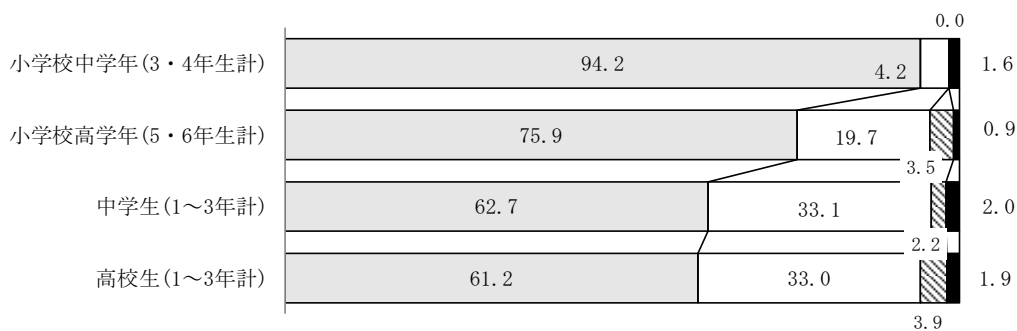
経年で見ると、高校生を除くすべての学年において「よくある」または「たまにある」の割合が令和元年度から増加している。

⑥家に自分の本を持っているか（％）（小学校中学年以上）

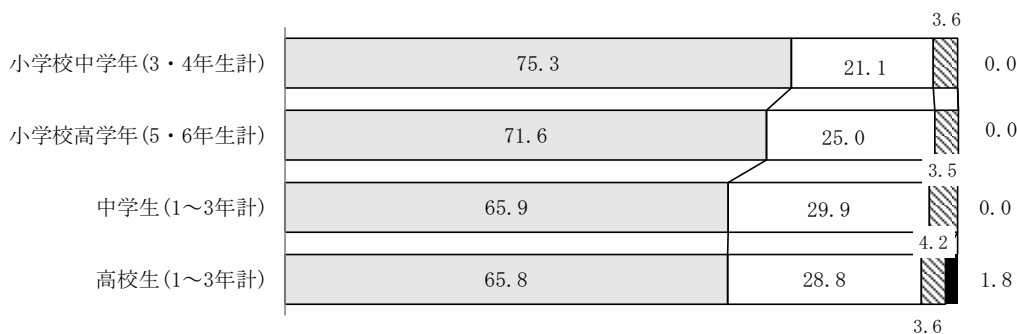
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】



「家に自分の本を持っているか」について、「10 冊以上ある」の割合は学年が上がるにつれて減少し、小学校中学年が 75.3％であるのに対して、高校生は 65.8％となっている。

経年で見ると、小学校中学年と小学校高学年において「10 冊以上ある」の割合が令和元年度から減少している。一方、中学生は令和元年度から 3.2 ポイント増加している。また、小学校中学年において「10 冊以上ある」の割合が令和元年度から 18.9 ポイント減少し、「10 冊未満だがある」の割合が 16.9 ポイント増加している。

(6) 家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関

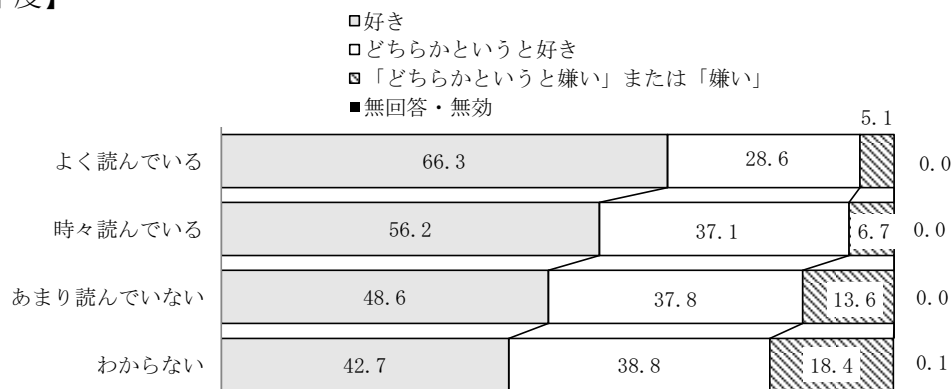
家庭での読書環境が児童・生徒の読書活動に影響するかどうかの関係をみるため、

- ①「家族はふだんから本を読んでいるか」と「読書の好き嫌い」の相関、
- ②「小さい頃に家族によく本を読んでもらったか」と「読書の好き嫌い」の相関をみた。

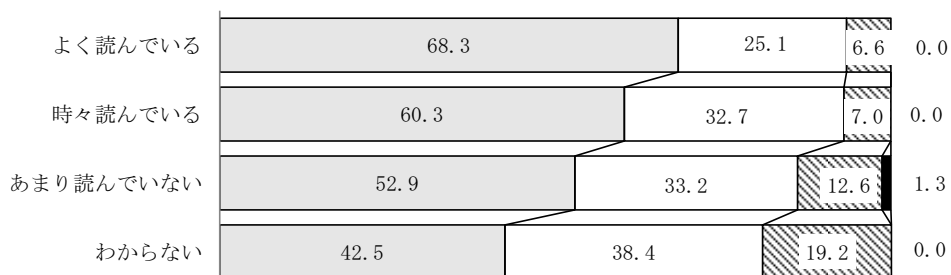
① 家族の読書状況と子どもの読書に対する意識の相関（％）

ア 小学校中学年（３・４年生）

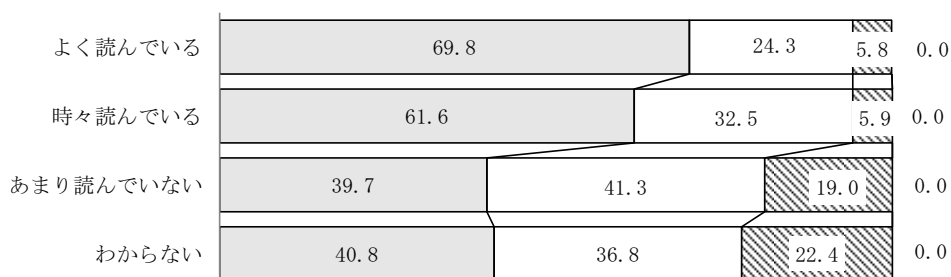
【平成 26 年度】



【令和元年度】

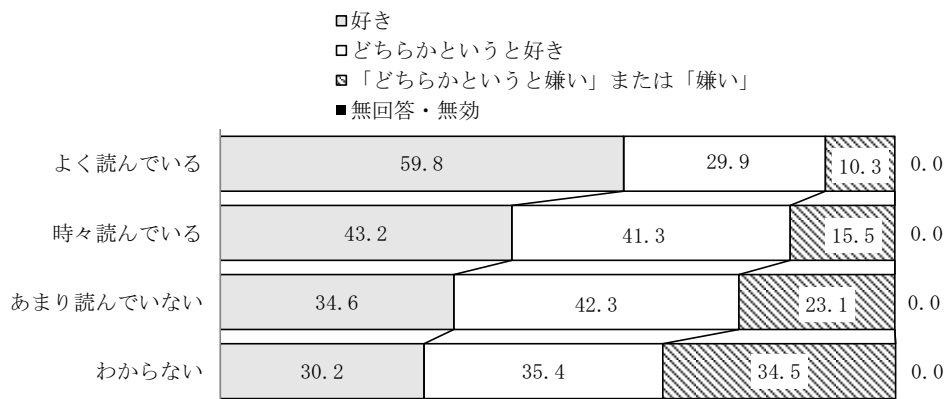


【令和 5 年度】

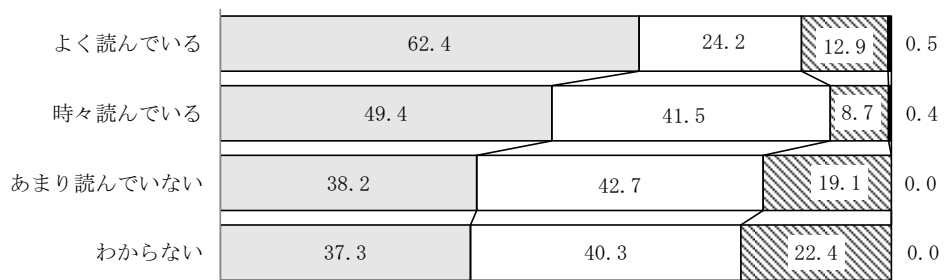


イ 小学校高学年（５・６年生）

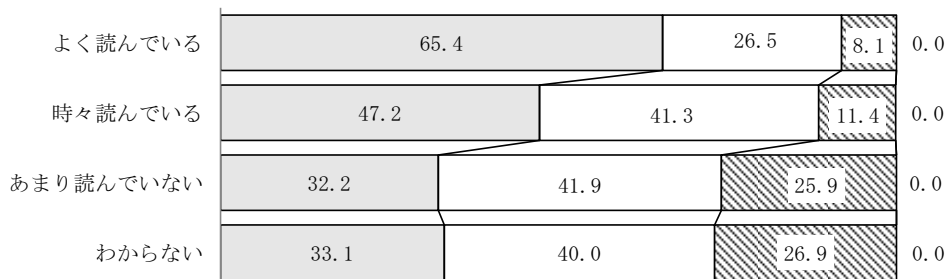
【平成 26 年度】



【令和元年度】

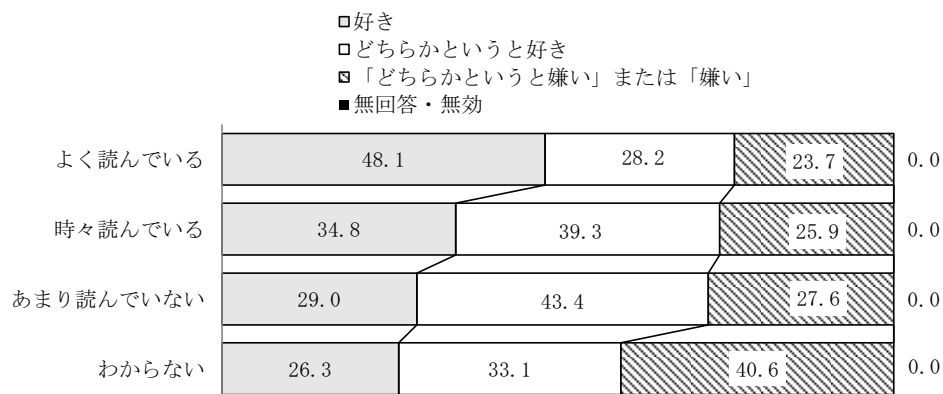


【令和 5 年度】

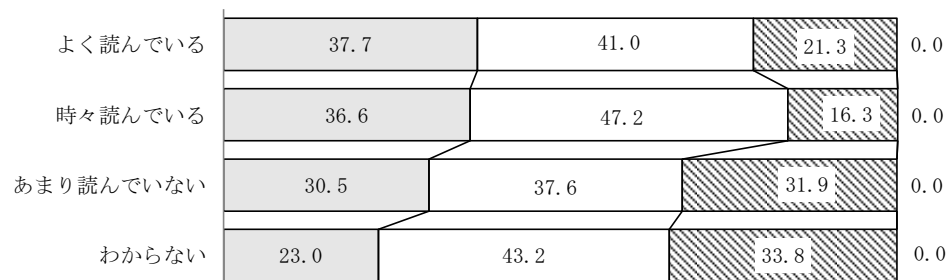


ウ 中学生（１～３年生）

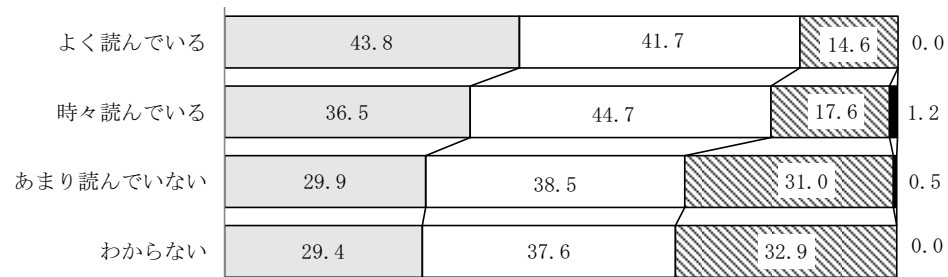
【平成 26 年度】



【令和元年度】

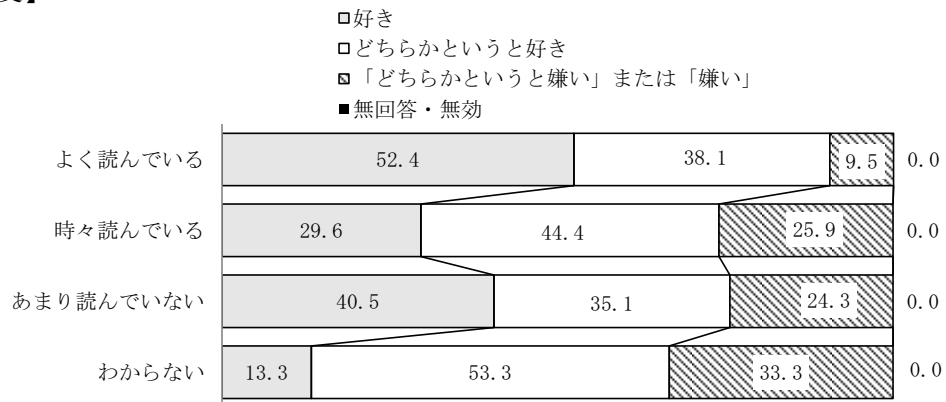


【令和 5 年度】

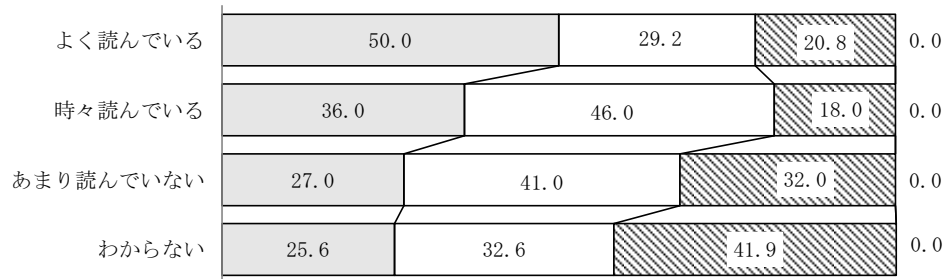


エ 高校生（１～３年生）

【令和元年度】



【令和５年度】



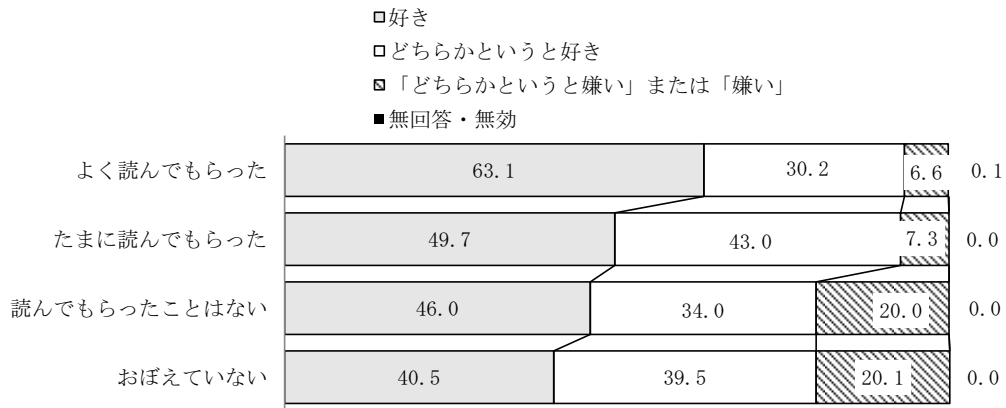
「家族はふだんから本を読んでいるか」と「読書の好き嫌い」の相関について、すべての学年において家族がふだんから本を「よく読んでいる」または「時々読んでいる」と答えた児童・生徒ほど、読書が「好き」または「どちらかという好き」の割合が高い傾向にある。

経年で見ると、小学校中学年と小学校高学年、高校生において家族がふだんから本を「あまり読んでいない」と答えた児童・生徒のうち、読書が「どちらかという嫌い」または「嫌い」と答えた割合は、令和元年度から増加している。

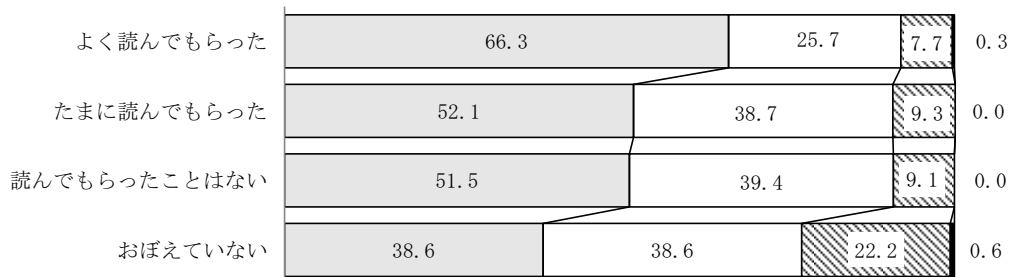
② 家族の読み聞かせの状況と子どもの読書に対する意識の相関（％）

ア 小学校中学年（３・４年生）

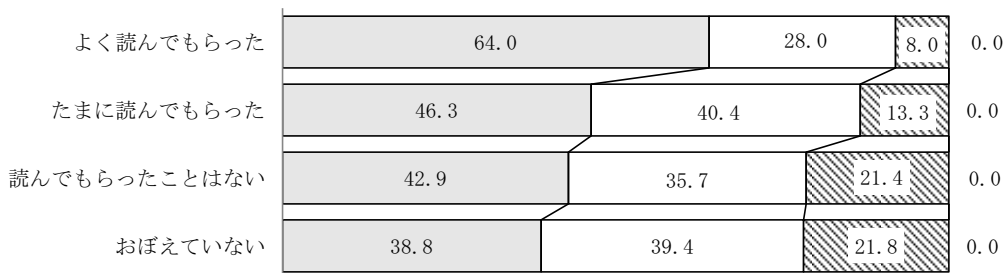
【平成 26 年度】



【令和元年度】

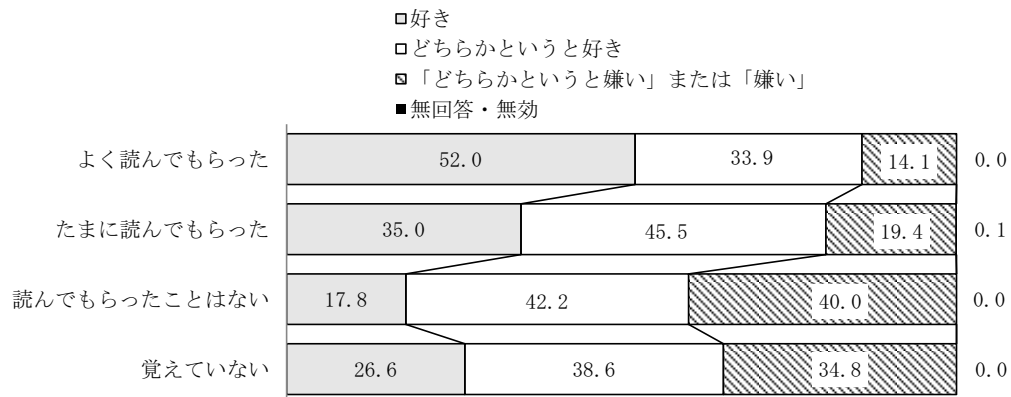


【令和 5 年度】

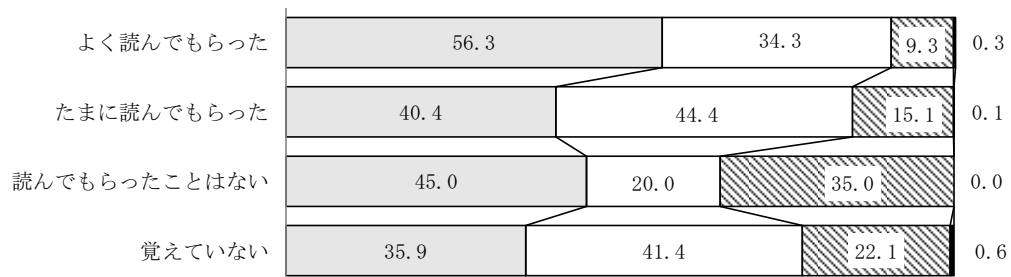


イ 小学校高学年（５・６年生）

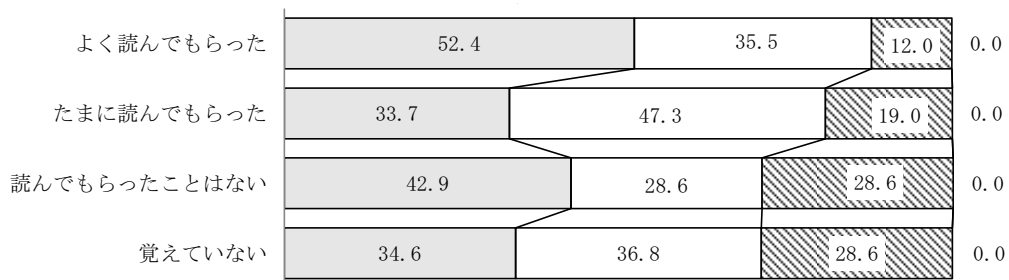
【平成 26 年度】



【令和元年度】

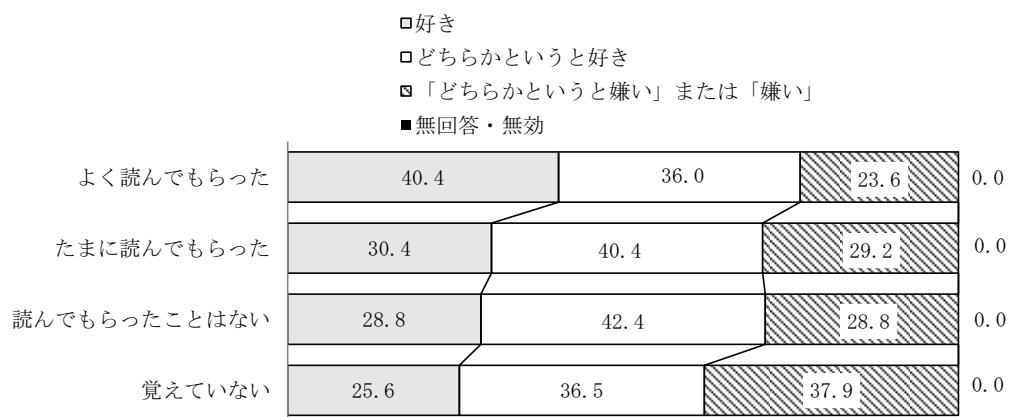


【令和 5 年度】

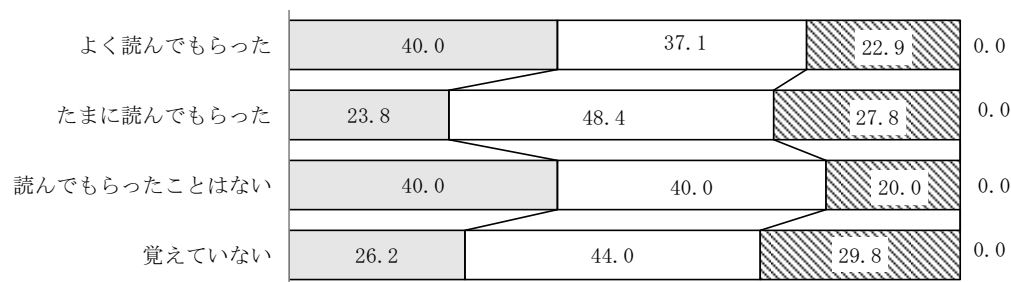


ウ 中学生（１～３年生）

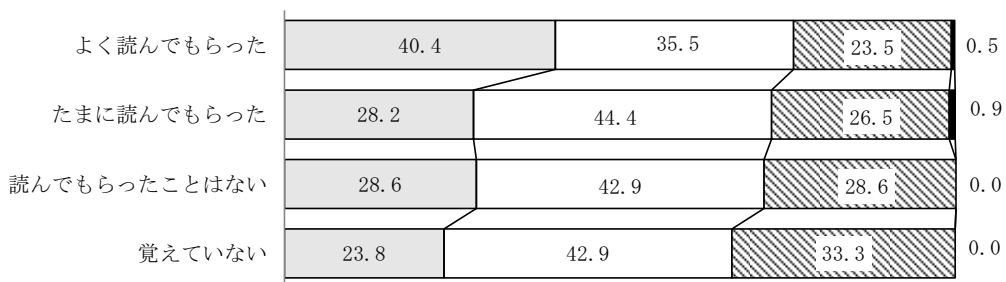
【平成 26 年度】



【令和元年度】

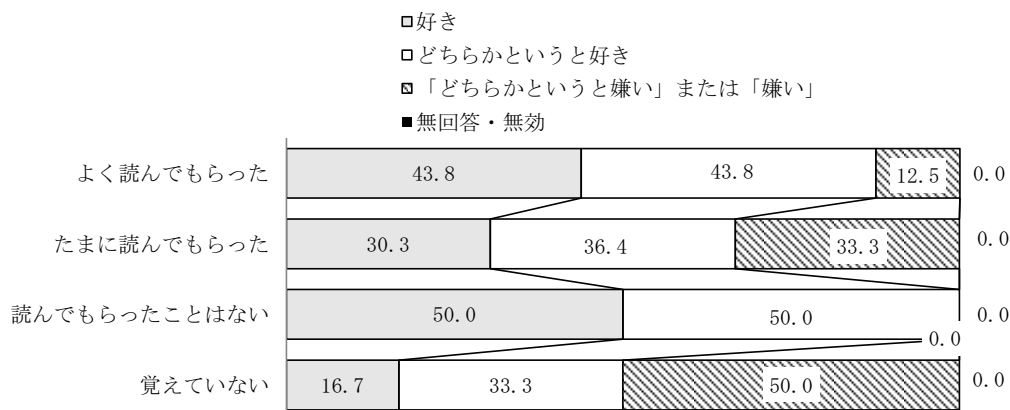


【令和 5 年度】

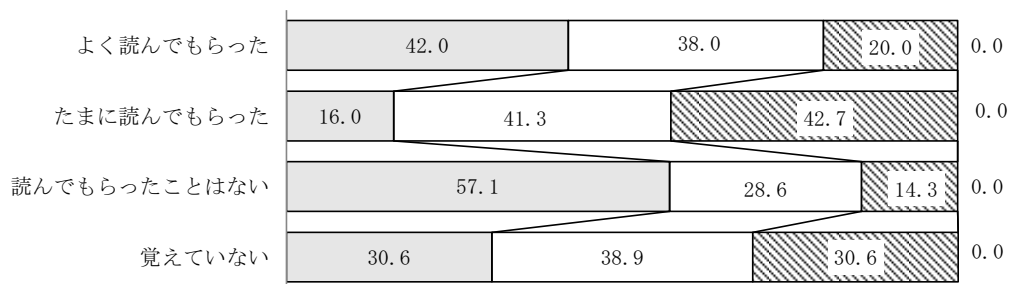


エ 高校生（１～３年生）

【令和元年度】



【令和５年度】



「小さい頃に家族によく本を読んでもらったか」と「読書の好き嫌い」の相関について、高校生を除くすべての学年において小さい頃に家族に本を「よく読んでもらった」または「たまに読んでもらった」と答えた児童・生徒ほど、読書が「好き」または「どちらかという好き」の割合が高い傾向にある。一方、高校生において「読んでもらったことはない」と答えた生徒のうち、読書が「好き」または「どちらかという好き」と答えた割合が57.1%と最も多くなっている。

経年で見ると、小学校中学年と中学生において「読んでもらったことはない」と答えた児童・生徒のうち、読書が「どちらかという嫌い」または「嫌い」と答えた割合は令和元年度から増加している。

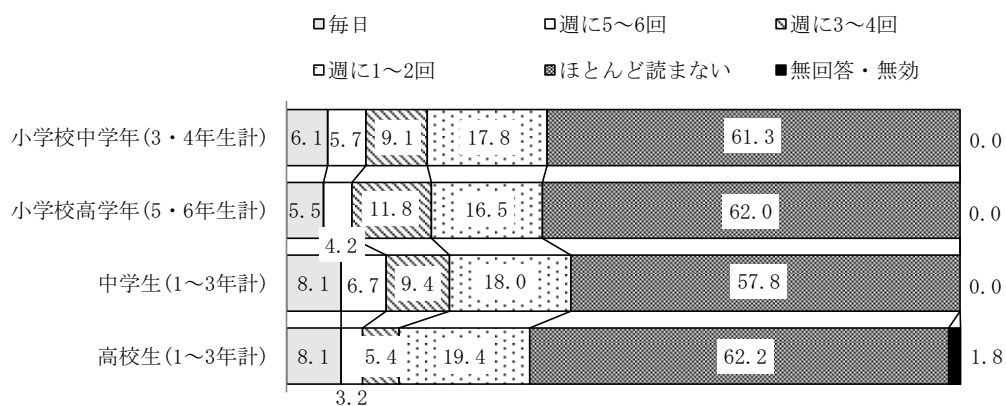
(7) 電子書籍の使用状況

① 紙ではない電子の本を読んだことがあるか（％）（小学校低学年）



「紙ではない電子の本を読んだことがあるか」について、「はい」が32.3%、「いいえ」が56.4%となっており、約3割の児童が電子書籍を読んだことがあると答えている。

② 紙の本以外で読書することがあるか（％）（小学校中学年以上）

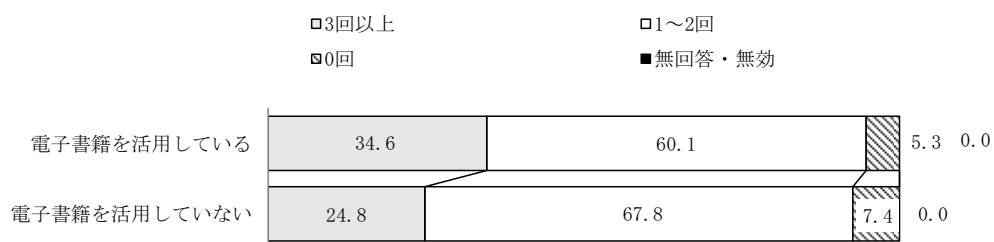


「紙の本以外で読書することがあるか」について、すべての学年において「ほとんど読まない」の割合が最も多く、約6割の児童・生徒が紙の本以外をほとんど読まないと答えている。

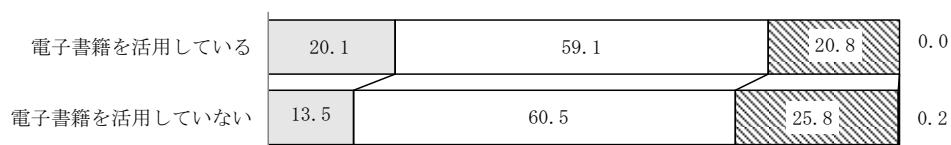
(8) 電子書籍の登場による読書活動実態の変化

① 電子書籍の活用状況と1週間の学校図書館の利用状況の相関（％）

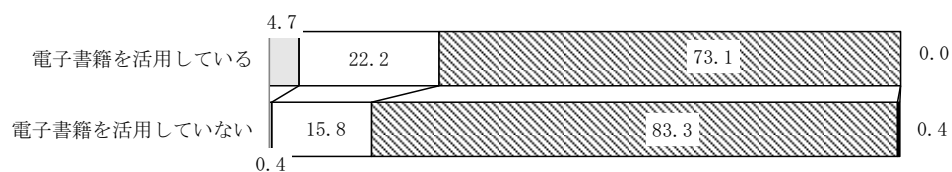
ア 小学校中学年（3・4年生）



イ 小学校高学年（5・6年生）



ウ 中学生



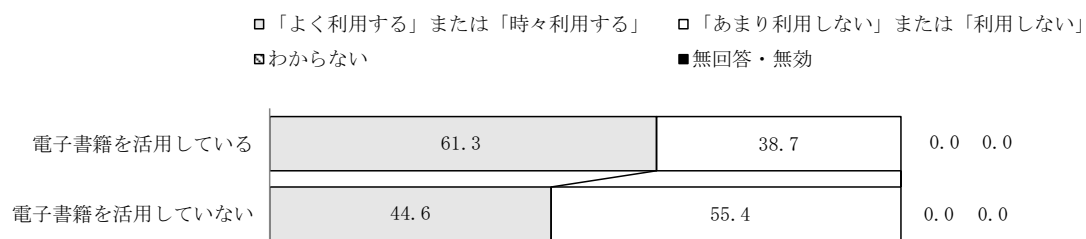
エ 高校生



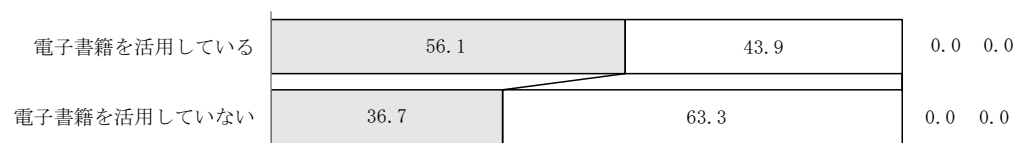
「電子書籍の活用状況」と「1週間の学校図書館の利用状況」の相関について、すべての学年において「電子書籍を活用している」と答えた児童・生徒ほど、学校図書館の利用回数が「3回以上」または「1～2回」の割合が高くなっている。

② 電子書籍の活用状況と学校以外の図書館の利用状況の相関（％）

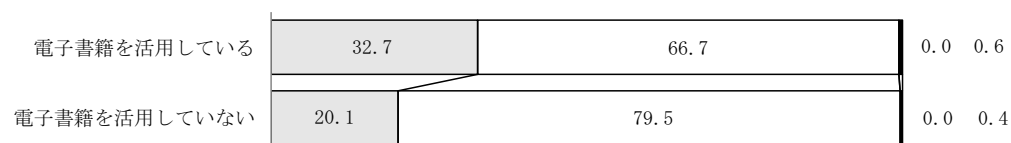
ア 小学校中学年（３・４年生）



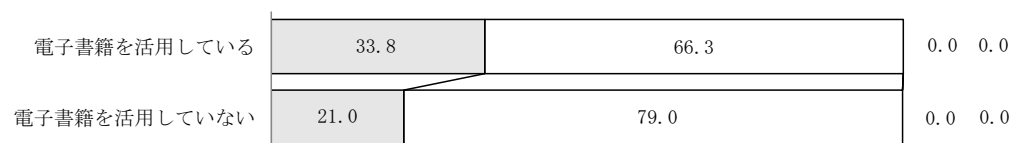
イ 小学校高学年（５・６年生）



ウ 中学生



エ 高校生

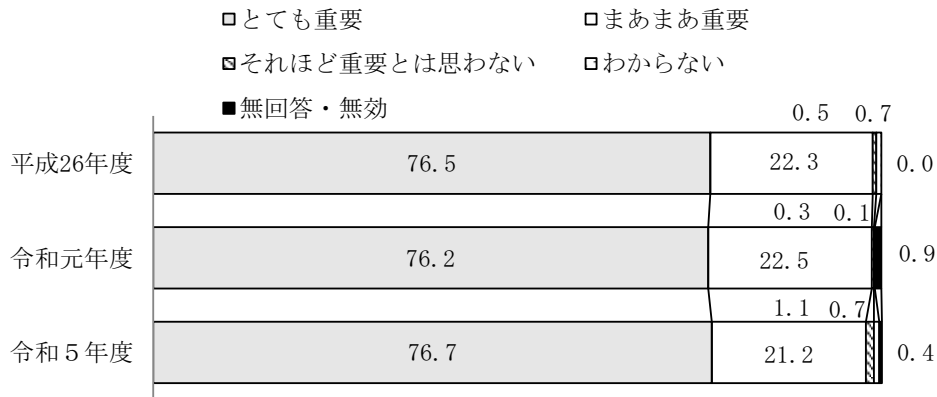


「電子書籍の活用状況」と「学校以外の図書館の利用状況」の相関について、すべての学年において「電子書籍を活用している」と答えた児童・生徒ほど、学校以外の図書館を「よく利用する」または「時々利用する」の割合が高くなっている。

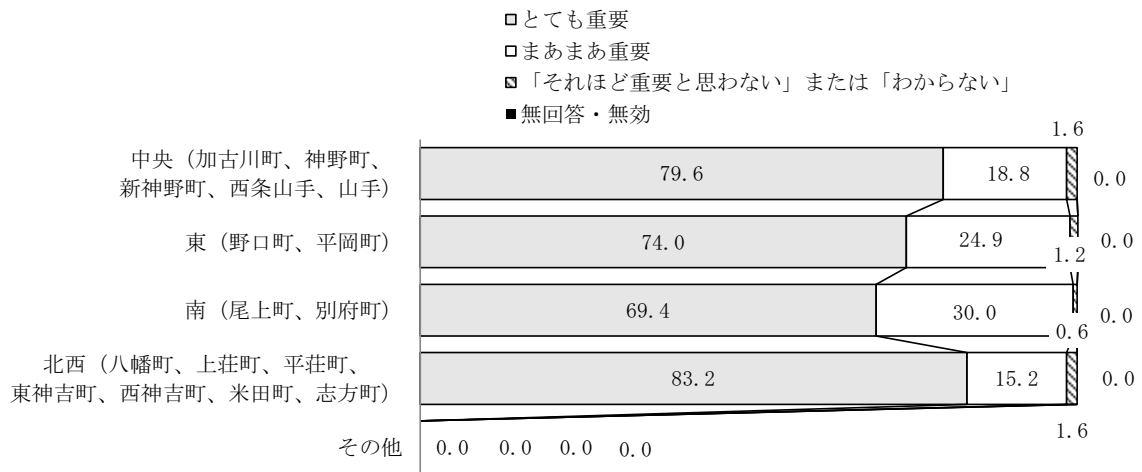
2. 子どもの読書活動に対する保護者（就学前の子どもをもつ保護者）の意識

(1) 子どもの読書活動の意義に対する認識

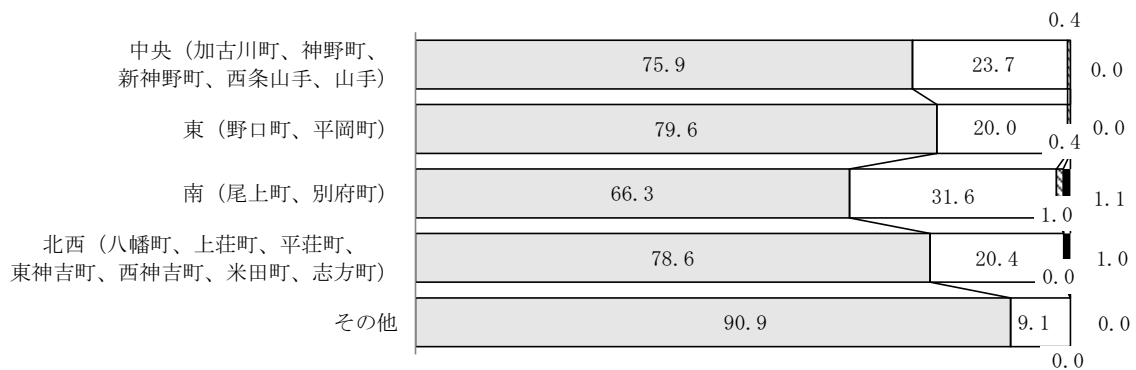
子どもの成長において読書は重要だと考えるか（％）



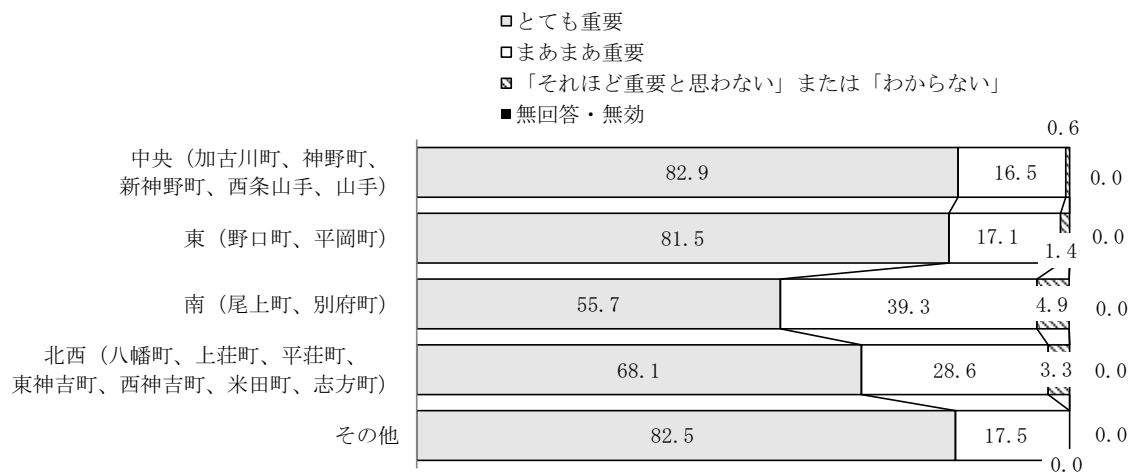
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和5年度】

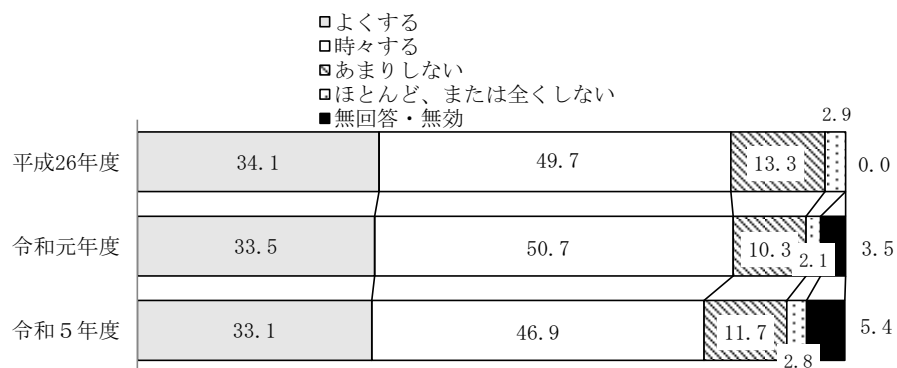


「子どもの成長において読書は重要だと考えるか」について、「とても重要」(76.7%)の割合が最も多く、「まあまあ重要」と合わせると97.9%となっている。経年で見ると、平成26年度から大きな差はない。

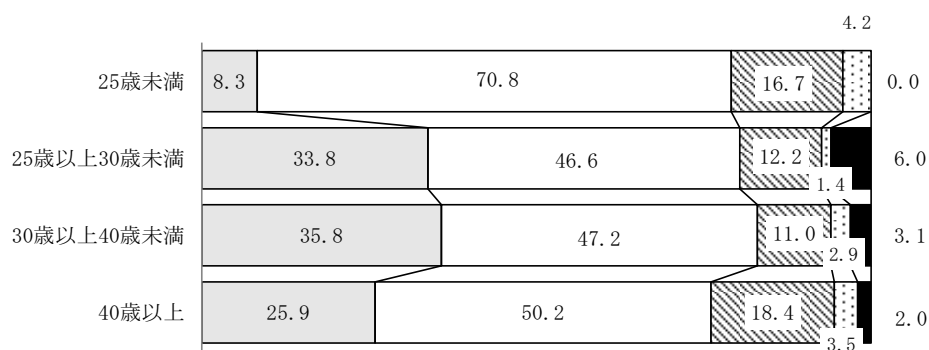
エリア別で見ると、中央部エリアにおいて「子どもの成長において読書はとても重要だと思う」(82.9%)の割合が最も多く、「まあまあ重要」と合わせると99.4%となっている。経年で見ると、その他を除くすべてのエリアにおいて「とても重要」と「まあまあ重要」を合わせた割合が令和元年度から減少している。また、南部エリアと北西部エリアにおいて「とても重要」の割合が、令和元年度から各10ポイント以上低下している。

(2) 家庭での読書環境

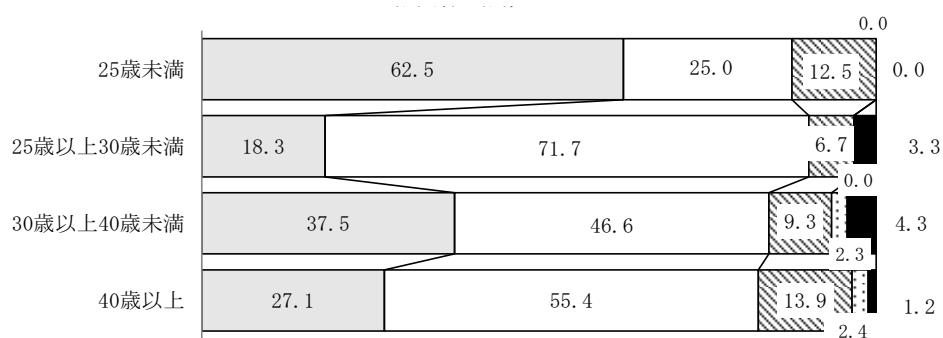
子どもに読み聞かせをするか (%)



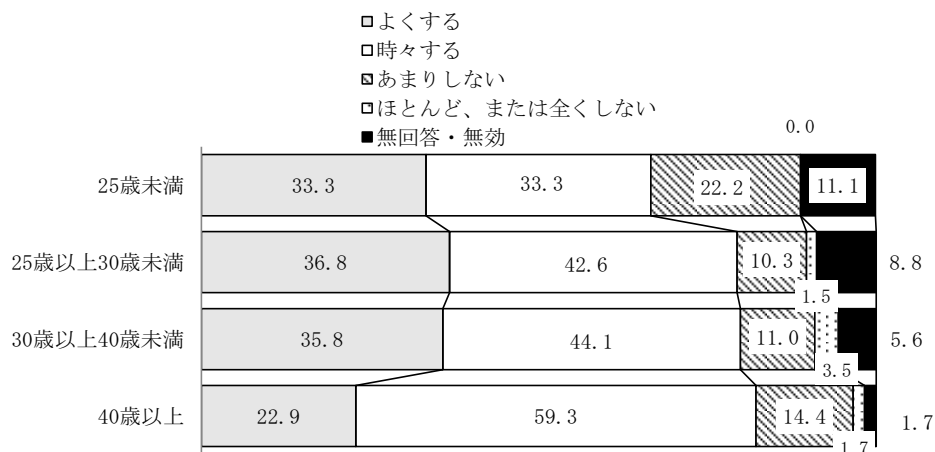
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和5年度】



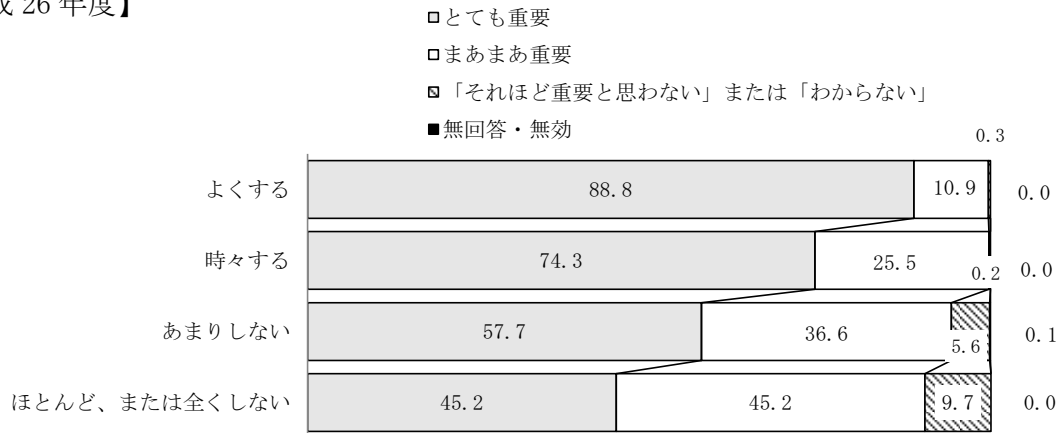
「子どもに読み聞かせをするか」について、「時々する」（46.9％）の割合が最も多く、「よくする」と合わせると80.0％となっている。経年で見ると、「よくする」と「時々する」を合わせた割合が、令和元年度から4.2ポイント低下している。

保護者の年齢別で見ると、「よくする」と「時々する」を合わせた割合は保護者の年齢が上がるにつれて増加し、25歳未満が66.6％であるのに対し、40歳以上は82.2％となっている。経年で見ると、30歳未満において「よくする」と「時々する」を合わせた割合が令和元年度から各10ポイント以上低下しており、25歳未満において「よくする」の割合が29.2ポイント減少している。

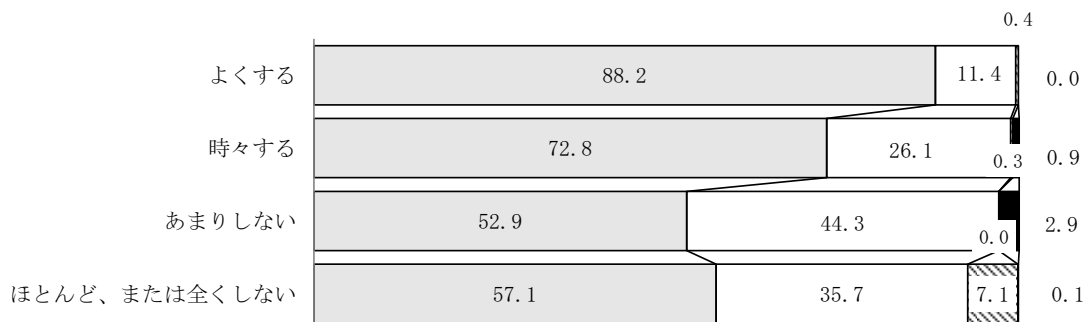
(3) 保護者の子どもの読書活動に対する意識および読書状況と読み聞かせ実施状況の相関

①「子どもの読解力等を育てるうえで読書は重要だと考えるか」と「読み聞かせの実施状況」の相関（％）

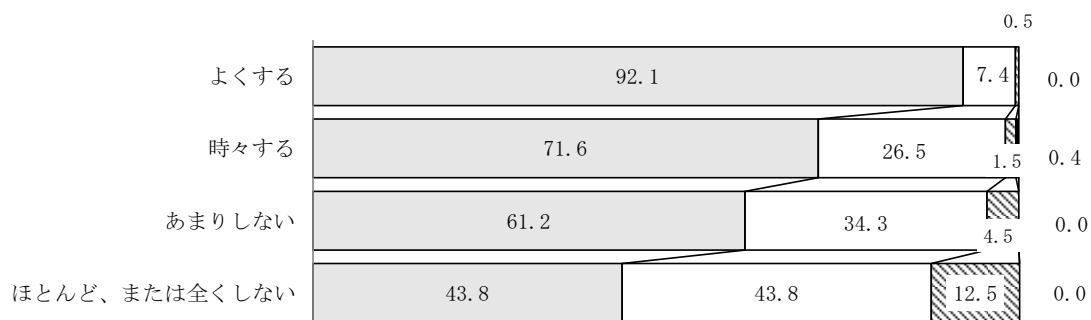
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

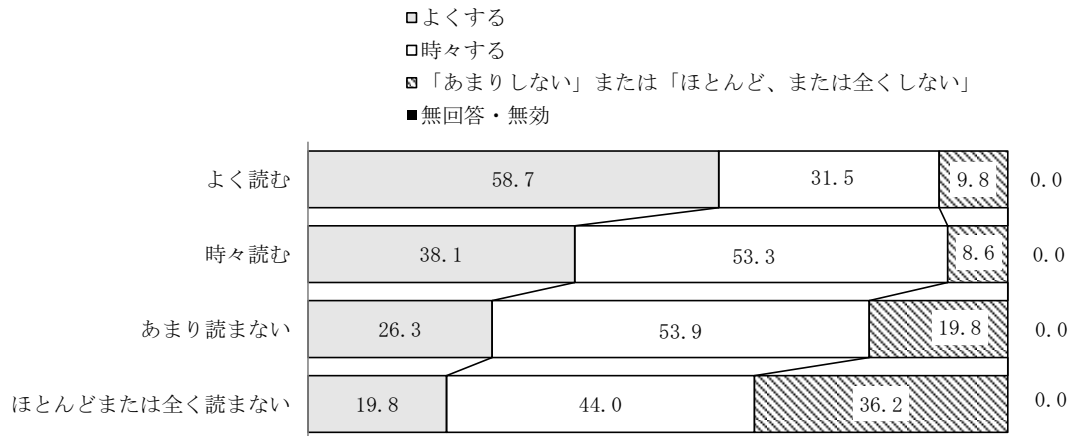


「子どもの読書活動に対する意識」と「読み聞かせ実施状況」の相関について、「よくする」または「時々する」と答えた保護者ほど、読書は「とても重要」または「まあまあ重要」と答えた割合が高い傾向にある。

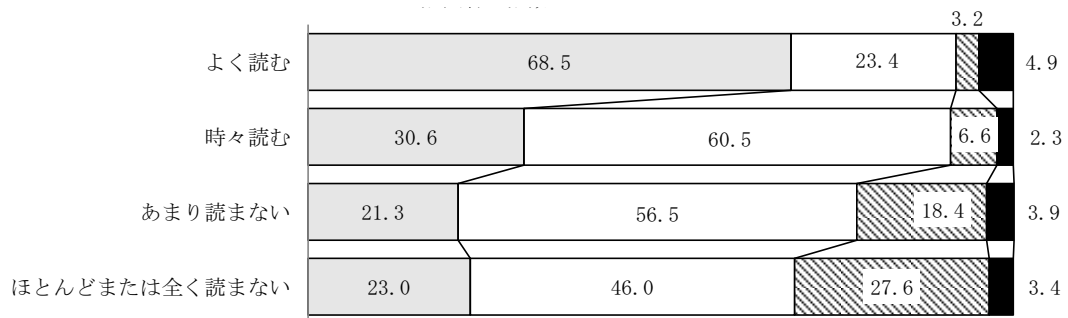
経年で見ると、子どもへの読み聞かせを「あまりしない」または「ほとんど、または全くしない」と答えた保護者のうち、「とても重要」または「まあまあ重要」と答えた割合は、令和元年度から減少している。

②「(保護者自身) 日頃から本を読むか」と「子どもへの読み聞かせの実施状況」の相関 (%)

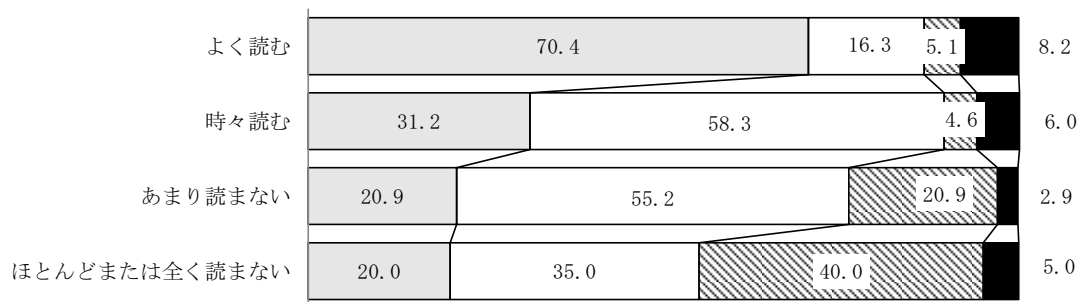
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

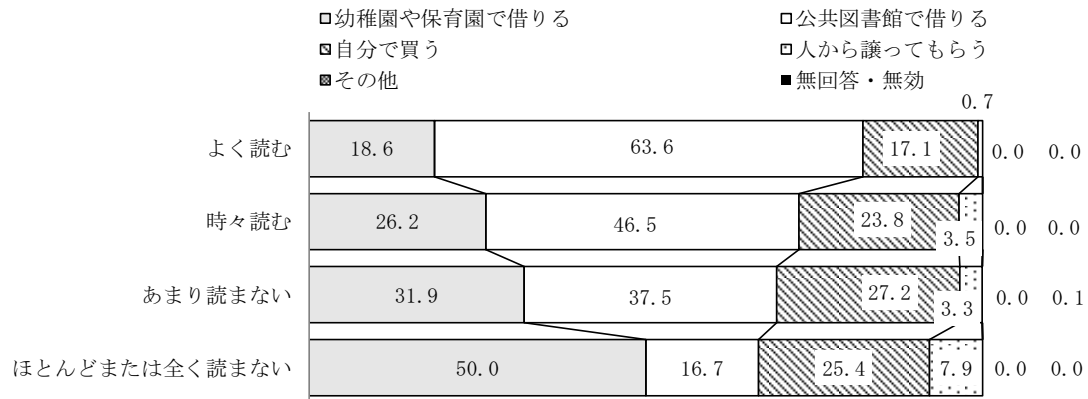


「保護者の読書状況」と「読み聞かせ実施状況」の相関について、日頃から本を「よく読む」または「時々読む」と答えた保護者ほど、子どもへの読み聞かせを「よくする」または「時々する」と答えた割合が高い傾向にある。

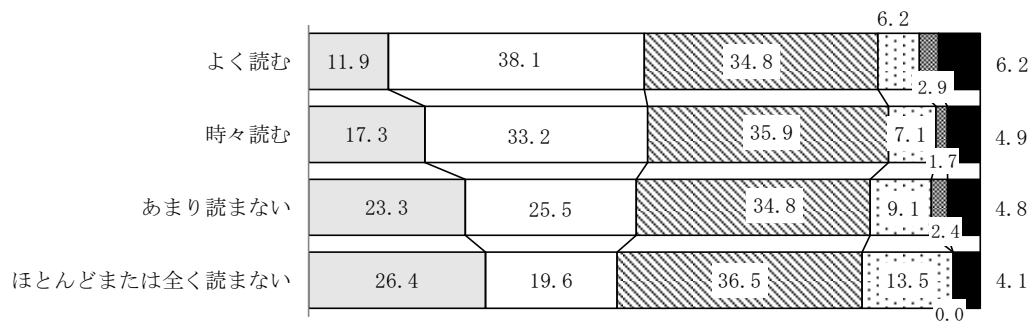
経年で見ると、日頃から本を「ほとんどまたは全く読まない」と答えた保護者のうち、子どもへの読み聞かせを「あまりしない」または「ほとんど、または全くしない」と答えた割合は、令和元年度から 12.4 ポイント増加している。

③「(保護者自身) 日頃から本を読むか」と「子どもの本をどのように用意するか」の相関 (%)

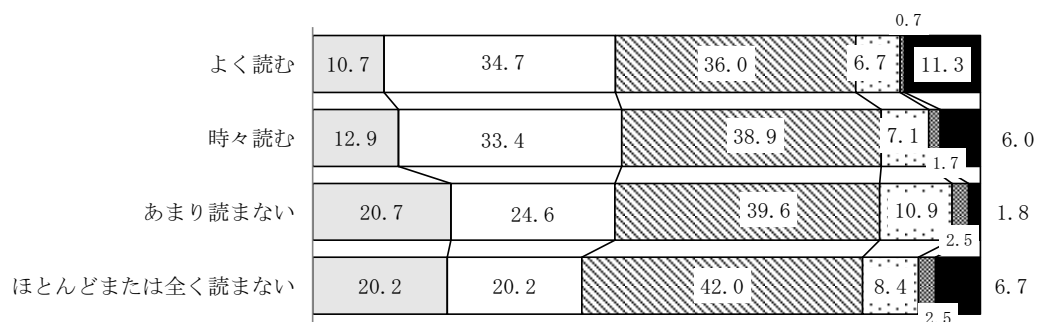
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

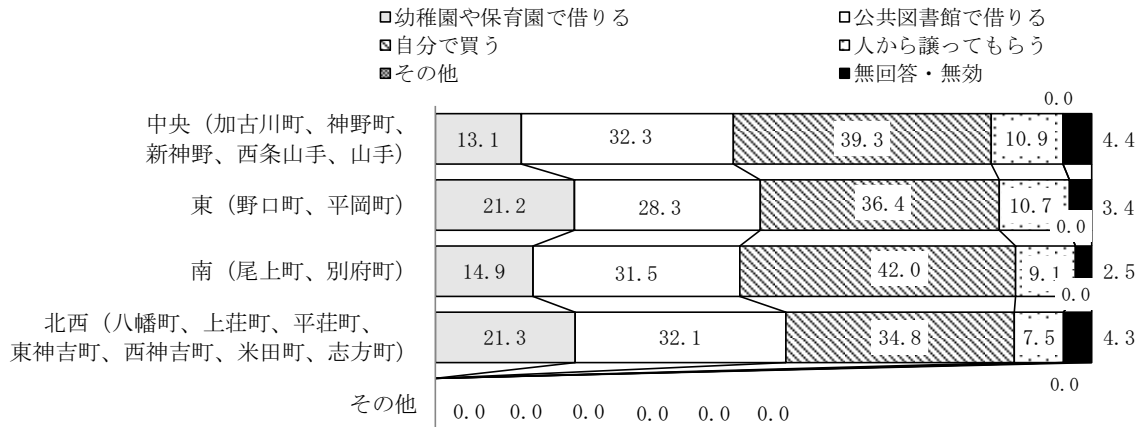


「保護者の読書状況」と「子どもの本の用意方法」の相関について、保護者の読書の頻度にかかわらず「自分で買う」の割合が最も多くなっている。保護者が本を読む頻度が減るにつれて子どもの本を「自分で買う」と答えた割合が高く、読む頻度が増えるにつれて子どもの本を「公共図書館で借りる」と答えた割合が増加している。

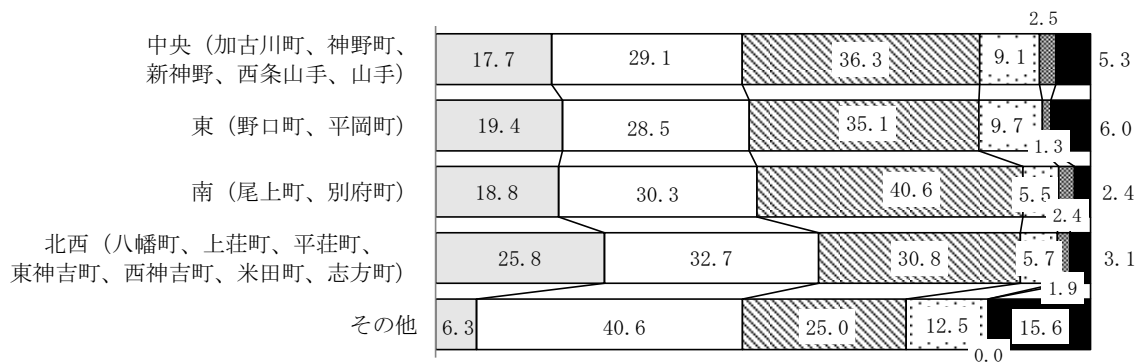
経年で見ると、保護者自身の読書の頻度にかかわらず「自分で買う」の割合が平成 26 年度から増加している。

④「子どもの本をどのように用意するか（就学前の子どもをもつ保護者）」と居住別地域の比較（％）

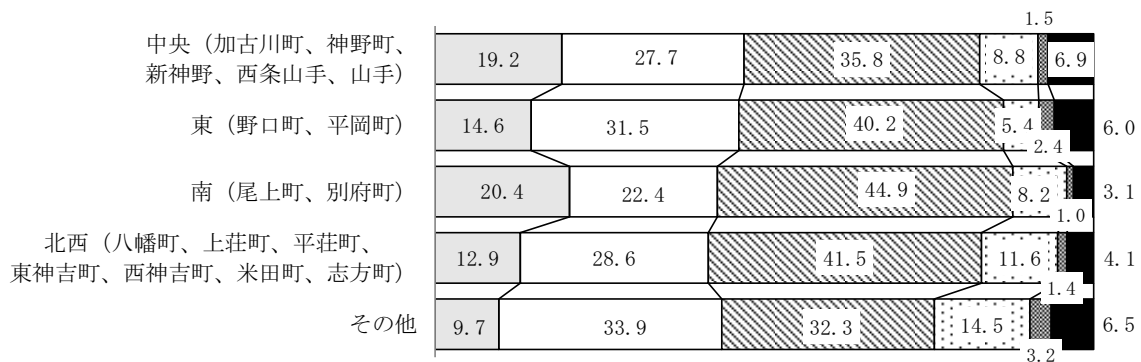
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

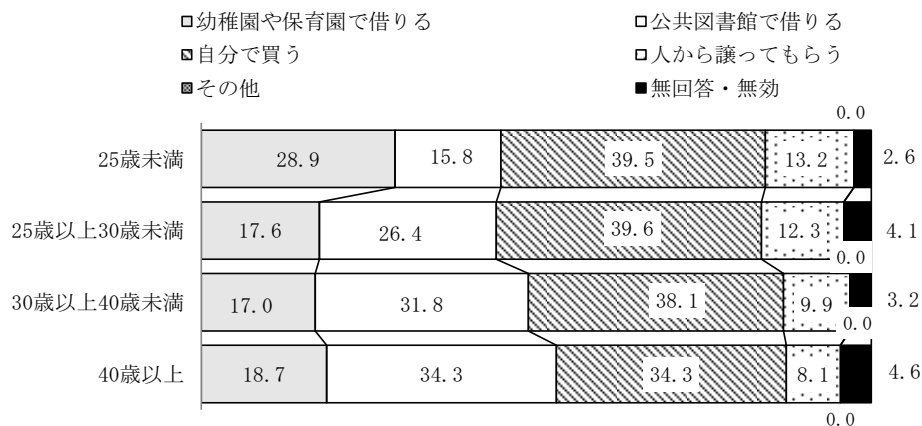


「子どもの本の用意方法」について、エリア別で見ると、「その他」を除くすべての地域において、子どもの本は「自分で買う」の割合が最も多く、南部エリアは 44.9% と最も多くなっている。

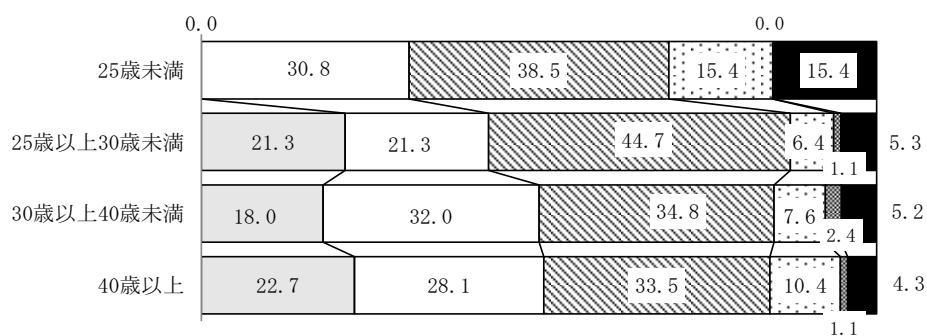
経年で見ると、北西部エリアにおいて「幼稚園や保育園で借りる」の割合が令和元年度から 12.9 ポイント減少し、「自分で買う」の割合が 10.7 ポイント増加している。

⑤「子どもの本をどのように用意するか（就学前の子どもをもつ保護者）」と保護者の年齢別比較（％）

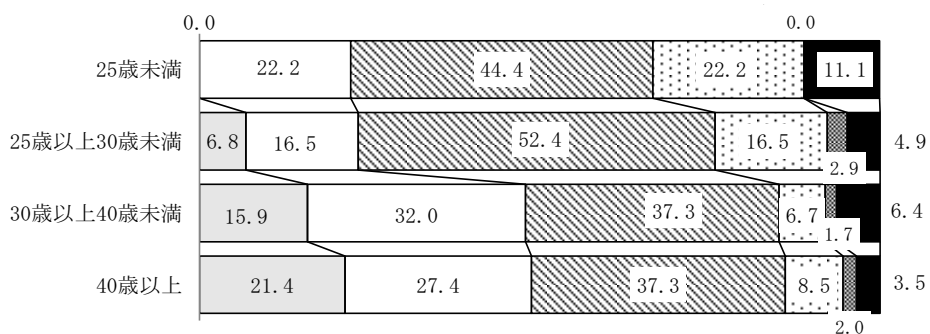
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】

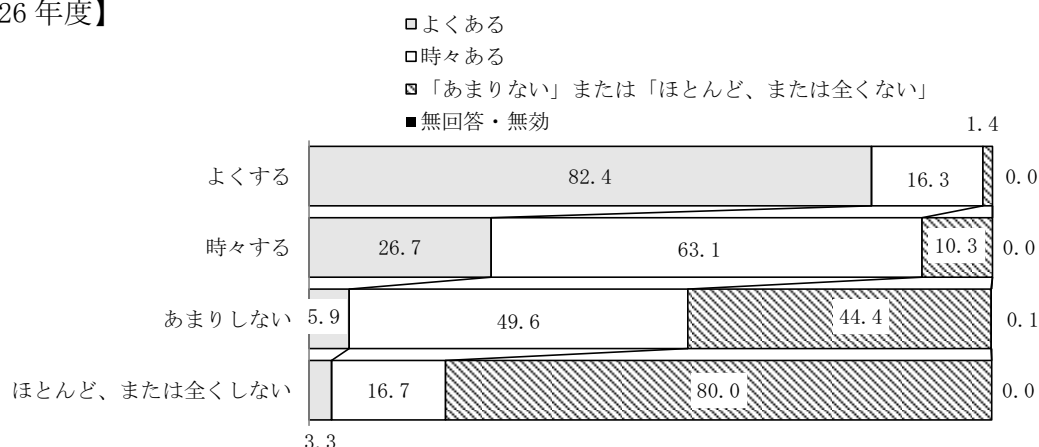


「子どもの本の用意方法」について、保護者の年齢別で見ると、保護者の年齢にかかわらず子どもの本は「自分で買う」の割合が最も多く、25歳以上30歳未満は50%を超えている。また、25歳未満において「幼稚園や保育園で借りる」の割合は0%となっており、「人から譲ってもらう」の割合は22.2%と他の年代に比べ多くなっている。

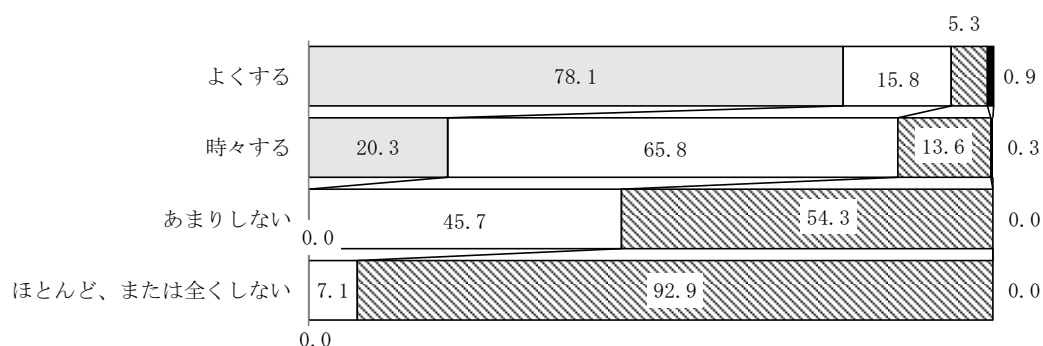
経年で見ると、25歳以上30歳未満において「幼稚園や保育園で借りる」の割合が令和元年度から14.5ポイント減少し、「自分で買う」の割合が7.7ポイント増加している。

⑥「子どもへの読み聞かせの実施状況」と「子どもから本を読んでほしいとせがまれることがあるか」の相関（％）

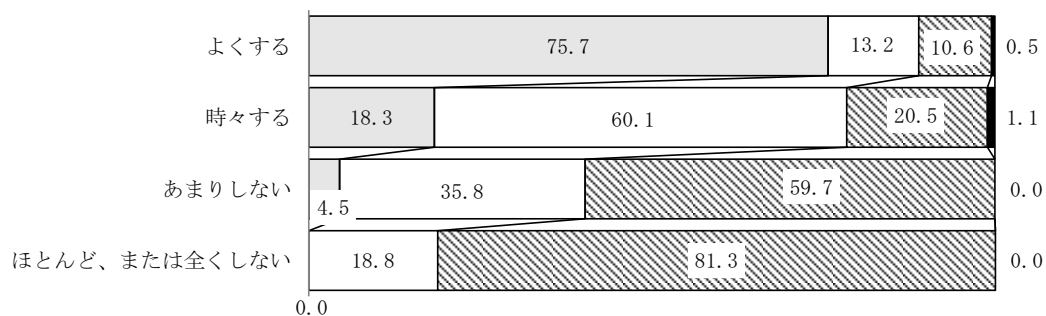
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】



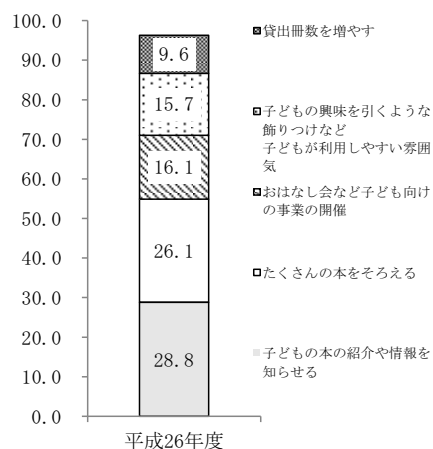
「読み聞かせの実施状況」と「子どもから本を読んでほしいとせがまれるか」の相関について、子どもへの本の読み聞かせを「よくする」または「時々する」と答えた保護者ほど、子どもから本を読んでほしいとせがまれることが「よくある」または「時々ある」と答えた割合が高い傾向にある。本を読んでほしいとせがまれることが「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は、本の読み聞かせを「よくする」が 88.9% であるのに対して、「ほとんど、または全くしない」は 18.8% となっている。

経年で見ると、本の読み聞かせを「ほとんど、または全くしない」と答えた保護者のうち、本を読んでほしいとせがまれることが「あまりない」または「ほとんど、または全くない」と答えた割合が令和元年度から 11.6 ポイント減少している。

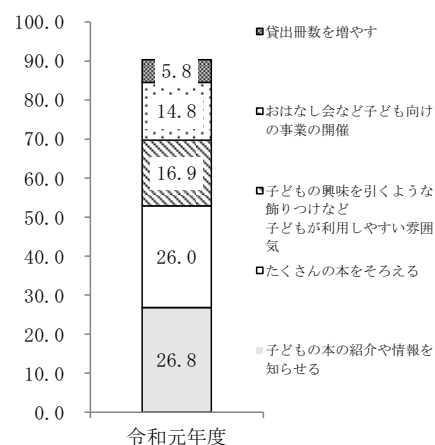
(4) 公共図書館に望むこと

公共図書館に望むこと（上位から）（％）

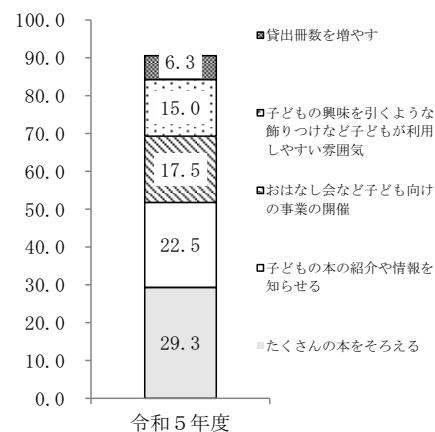
	平成26年度
子どもの本の紹介や情報を知らせる	28.8
たくさんの本をそろえる	26.1
おはなし会など子ども向けの事業の開催	16.1
子どもの興味を引くような飾りつけなど 子どもが利用しやすい雰囲気	15.7
貸出冊数を増やす	9.6



	令和元年度
子どもの本の紹介や情報を知らせる	26.8
たくさんの本をそろえる	26.0
子どもの興味を引くような飾りつけなど 子どもが利用しやすい雰囲気	16.9
おはなし会など子ども向けの事業の開催	14.8
貸出冊数を増やす	5.8



	令和5年度
たくさんの本をそろえる	29.3
子どもの本の紹介や情報を知らせる	22.5
おはなし会など子ども向けの事業の開催	17.5
子どもの興味を引くような飾りつけなど 子どもが利用しやすい雰囲気	15.0
貸出冊数を増やす	6.3

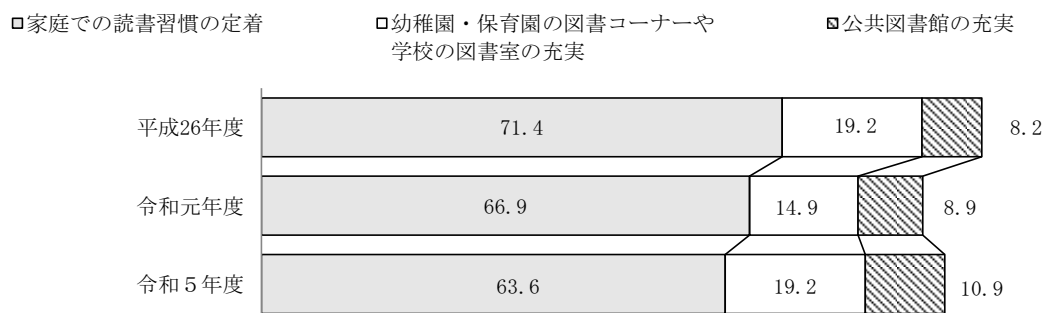


「公共図書館に望むこと」について、「たくさんの本をそろえる」（29.3％）が最も多く、次いで「子どもの本の紹介や情報を知らせる」（22.5％）、「おはなし会など子ども向けの事業の開催」（17.5％）となっている。

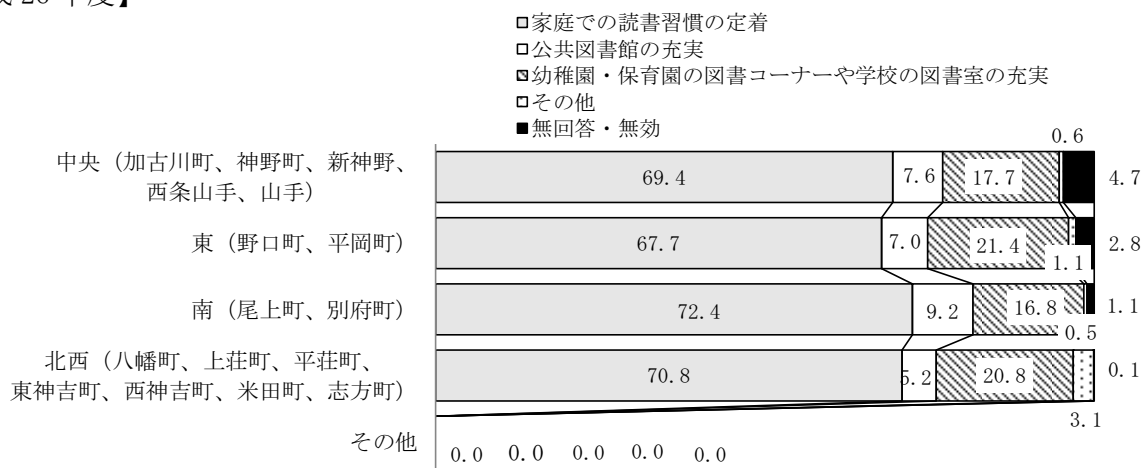
経年で見ると、「子どもの本の紹介や情報を知らせる」の割合は令和元年度から 4.3 ポイント減少している。一方、「たくさんの本をそろえる」の割合は令和元年度から 3.3 ポイント増加しており、本の種類の充実を求める声が多くなっている。

(5) 子どもの読書活動の推進を図るうえで最も重要なこと

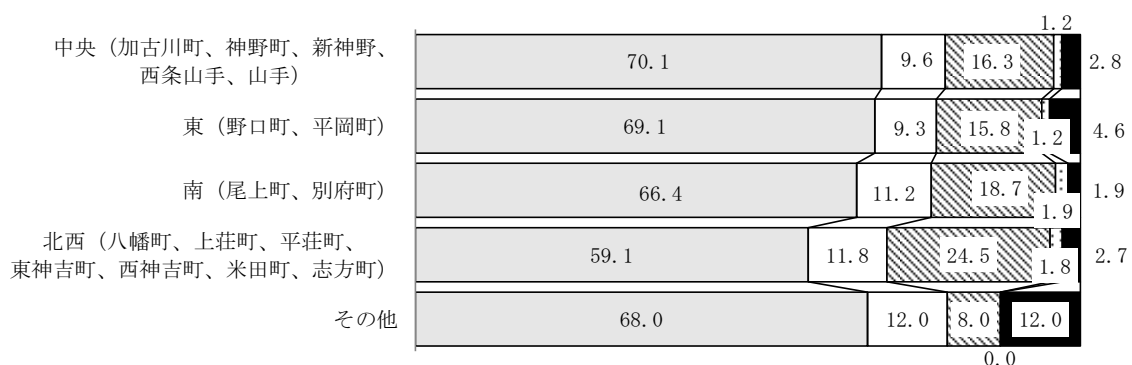
子どもの読書活動の推進を図るうえで最も重要だと思うこと（上位から）（％）



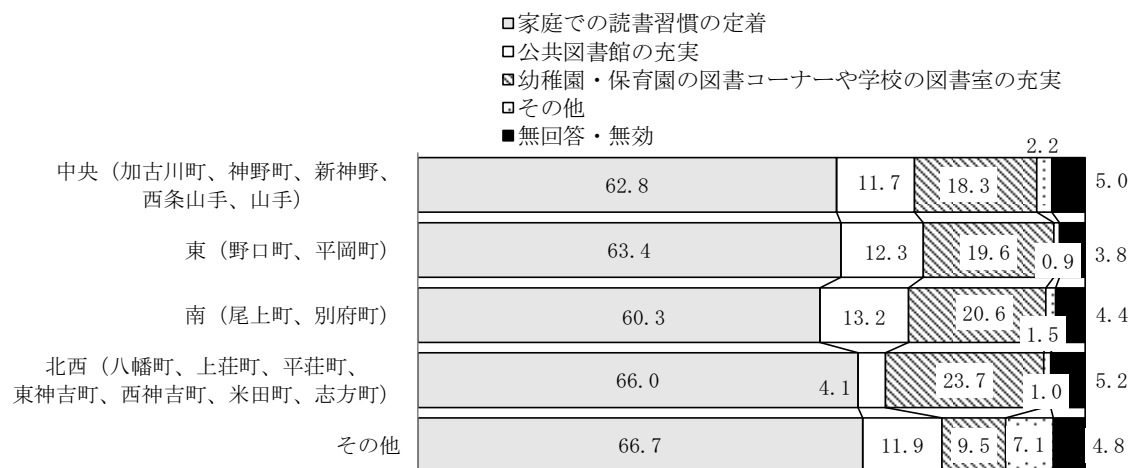
【平成 26 年度】



【令和元年度】



【令和5年度】

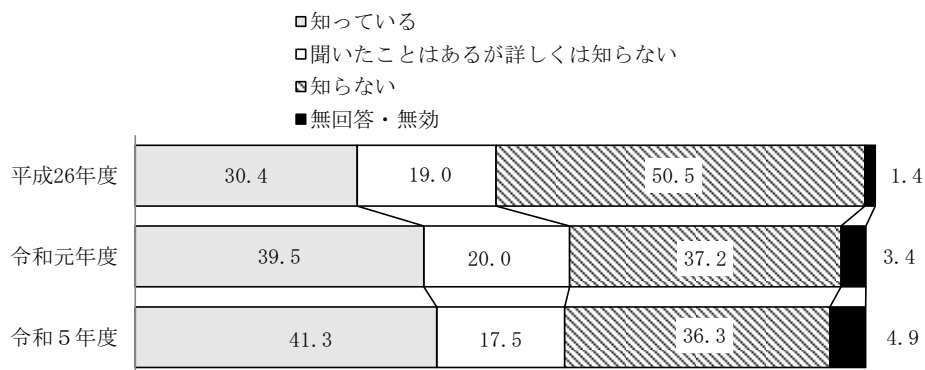


「子どもの読書活動の推進を図るうえで最も重要だと思うこと」について、「家庭での読書習慣の定着」（63.6％）が最も多く、次いで「幼稚園・保育園の図書コーナーや学校の図書室の充実」（19.2％）、「公共図書館の充実」（10.9％）となっている。経年で見ると、「家庭での読書習慣の定着」の割合は平成26年度から減少し、令和元年度から3.3ポイント減少している。一方、「幼稚園・保育園の図書コーナーや学校の図書室の充実」は令和元年度から4.3ポイント増加している。

エリア別で見ると、すべての地域において3項目の順位は同じだが、北西部エリアにおいて「公共図書館の充実」の割合は4.1％と他の地域に比べ低くなっている。経年で見ると、北西部エリアにおいて「公共図書館の充実」の割合が令和元年度から7.7ポイント減少している。また、中央部エリアにおいて「家庭での読書習慣の定着」の割合は令和元年度から7.3ポイント減少し、北西部エリアは6.9ポイント増加している。

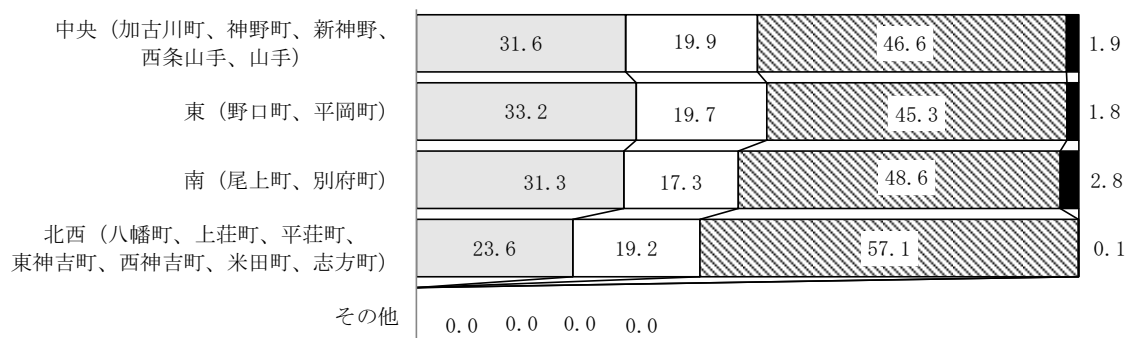
(6) はじめまして絵本事業の認知状況

はじめまして絵本事業について (%)

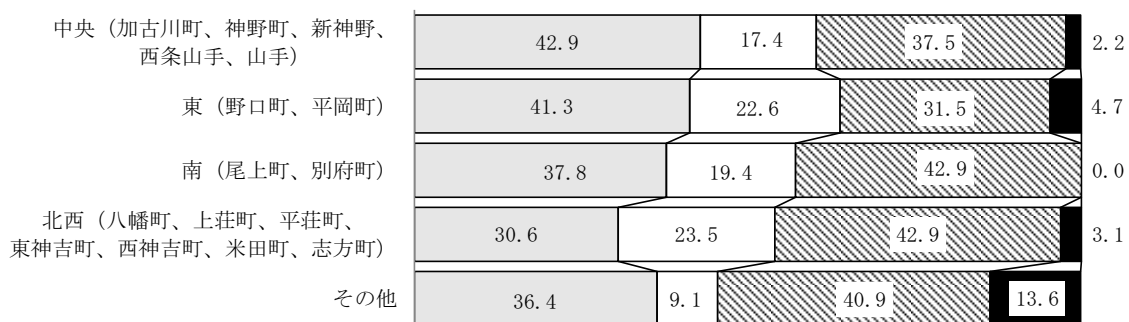


*居住エリア

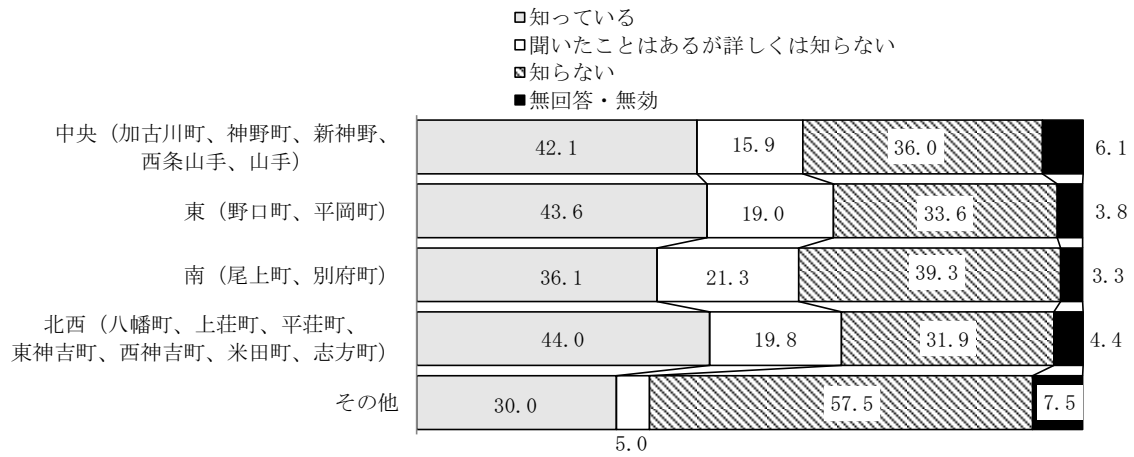
【平成26年度】



【令和元年度】

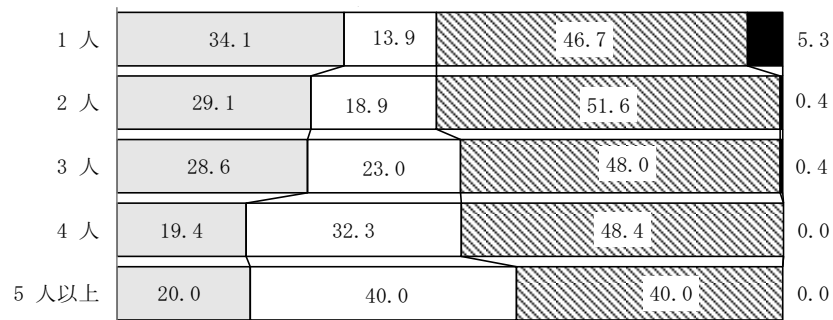


【令和5年度】

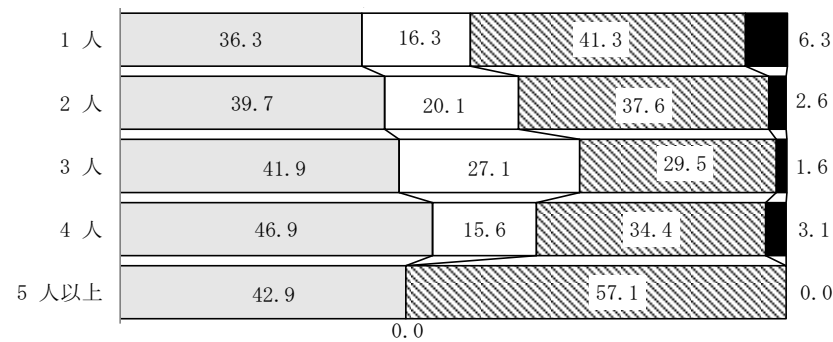


*子どもの人数

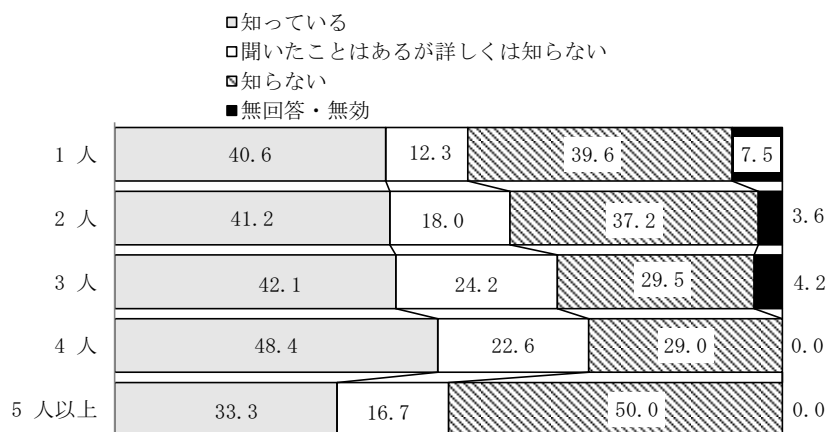
【平成26年度】



【令和元年度】



【令和 5 年度】



「はじめまして絵本事業の認知」について、「知っている」(41.3%) が最も多く、次いで「知らない」(36.3%)、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(17.5%) となっている。経年で見ると、「知っている」の割合は平成 26 年度から増加している。

エリア別で見ると、北西部エリアにおいて「知っている」の割合が 44.0% と最も多く、令和元年度から 13.4 ポイント増加している。

子どもの人数別で見ると、「知っている」の割合は子どもの人数が多くなるにつれて増加傾向にあるが、5 人以上は 33.3% と最も低く、令和元年度から 9.6 ポイント減少している。

3. 調査結果まとめ

【児童・生徒】

○読書に対する意識

- ・読書が好きかについては、すべての学年の70%以上の児童・生徒が「好き」（「好き」または「どちらか」と好き）と回答しています。また、学年が上がるにつれて「好き」の割合が減少傾向にあり、学年によって読書に対する意識が変化しています。

○読書量

- ・1ヶ月の読書冊数については、学年が上がるにつれ読書量が減少する傾向にあります。

○本を読む理由と読まない理由

- ・本を読む理由については、小学校中学年では「読むのが楽しい」、小学校高学年以降では「いろいろ想像するのが楽しい」の割合が最も多くなっています。すべての学年において、本を読む理由として楽しさをあげている児童・生徒が多いです。
- ・また、「新しい知識を得ることができる」や「自分の考えが広がったり深まったりする」といった自己の成長を理由とする回答も多くあげられています。
- ・本を読まない理由については、小学校中学年では「スポーツをしたりする方が楽しい」、小学校高学年以降では「テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい」の割合が最も多くなっています。すべての学年において、本を読まない理由として「スポーツやテレビ・ゲームの方が楽しい」をあげている児童・生徒が多いです。
- ・また、高校生では他の学年では見られない「読みたいが勉強・部活動のため読む時間がない」といった回答も多くあげられており、学生生活の変化が原因であると考えられます。

○図書館の利用状況

- ・1週間の学校の図書館および学校以外の図書館の利用回数については、どちらも学年が上がるにつれ図書館の利用回数が減少する傾向にあります。
- ・学校以外の図書館を利用しない理由については、すべての学年で「読みたい本は買って読む」の割合が最も多く、小学校高学年では「図書館が家の近くにない」も高くなっています。
- ・また、「忙しくて図書館に行く時間がない」といった回答も多くあげられています。

○図書館に期待すること

- ・学校の図書館に期待することについては、すべての学年で「もっといろいろな本をそろえる」の割合が最も多くなっています。学校の図書館に本の種類の充実を期待している児童・生徒が多いです。
- ・また、小学生では「借りられる本の数をふやす」や「本を探しやすくする」、中学生と高校生では「いつでも利用できるようにする」といった回答も多くあげられており、学年によって期待する内容が変化する傾向にあります。
- ・学校以外の図書館に期待することについても同様、すべての学年で「もっといろいろな本をそろえる」の割合が最も多くなっています。学校以外の図書館にも本の種類の充実を期待している児童・生徒が多いです。
- ・また、「本をさがしやすくする」や「本を借りられる期間を長くする」といった回答も多くあげられています。

○家庭での読書環境

・家族の読書状況については、「読んでいる」（「よく読んでいる」または「時々読んでいる」）の割合が小学校低学年、中学生、高校生では 30% 台であるのに対し、未就学児、小学校中学年、小学校高学年では 50% を超えています。

・「家族に本を読んでもらうか」については、「はい」の割合が未就学児では 80.0% であるのに対し、小学校低学年では 36.8% となっています。学年が上がるにつれ家族に読んでもらう機会が減少し、自ら読書をする傾向にあります。

・「小さいころに家族に本を読んでもらったか」については、すべての学年の 70% 以上の児童・生徒が「読んでもらった」（「よく読んでもらった」または「たまに読んでもらった」）と回答しています。

・「家族と本のことについて話をすることがあるか」については、学年が上がるにつれて「ある」（「よくある」または「たまにある」）の割合が減少し、本について家族と話す機会が減少する傾向にあります。

・「家族に本をよく読むように言われることがあるか」については、学年が上がるにつれて「ある」の割合が減少傾向にあります。経年では、家族から読書について言われる機会が増加する傾向にあります。

・「家に自分の本を持っているか」について、すべての学年の 90% 以上の児童・生徒が「ある」（「10 冊以上ある」または「10 冊未満だがある」）と回答しています。学年が上がるにつれて「10 冊以上ある」の割合が減少しています。所有する本の冊数が減少する傾向にあります。

・「家庭での読書環境と児童・生徒の読書に対する意識の相関」については、すべての学年で「家族が普段から本を読んでいる」、「小さいころに家族に本を読んでもらった」と答えた児童・生徒ほど、読書が「好き」の割合が高い傾向にあります。

○電子書籍

・「紙以外の本で読書することがあるか」については、すべての学年の 50% 以上の児童・生徒が「活用していない」（「いいえ」または「ほとんど読まない」）と回答しています。

・「電子書籍の活用状況と学校以外の図書館の利用状況の相関」については、すべての学年において「活用している」と答えた児童・生徒ほど、図書館を「利用する」（「よく利用する」または「時々利用する」）の割合が高くなっています。

【保護者】

○子どもの読書活動の意義に対する認識

- ・「子どもの成長において読書は重要だと考えるか」について、97.9%の保護者が「重要」（「とても重要」または「まあまあ重要」）と回答しています。

○家庭での読書環境

- ・「子どもに読み聞かせをするか」について、80.0%の保護者が「する」（「よくする」または「時々する」）と回答しています。

○保護者の子どもの読書活動に対する意識および読書状況と読み聞かせ実施状況の相関

- ・「子どもの読解力を育てるうえで読み聞かせの実施状況の相関」については、「読む」（「よく読む」または「時々読む」）と答えた保護者ほど、読書が「重要」の割合が高い傾向にあることがうかがえます。
- ・「読み聞かせの実施状況と子どもの読書活動に対する認識相関」については、「する」と答えた保護者ほど、読書が「重要」の割合が高い傾向にあります。

○子どもの本の用意方法と保護者の読書状況および属性の相関

- ・「子どもの本の用意方法と保護者の読書状況および地域・年齢との相関」については、保護者の読書頻度、居住地域、年齢にかかわらず、「自分で買う」の割合が最も多くなっています。

○読み聞かせ実施状況と子どもから本を読んでもほしいとせがまれるかの相関

- ・「読み聞かせの実施状況と本の読み聞かせをせがまれるかの相関」については、「読む」と答えた保護者ほど、せがまれることが「よくある」（「よくある」または「時々ある」）の割合が高い傾向にあります。

○公共図書館に望むこと

- ・公共図書館に望むことについては、「たくさん本をそろえる」の割合が最も多くなっています。児童・生徒と同様、保護者においても図書館に本の種類の充実を望んでいると考えられます。
- ・また、「子どもの本の紹介や情報を知らせる」や「おはなし会など子ども向けの事業の開催」といった回答も多くあげられています。

○子どもの読書活動の推進に重要なこと

- ・子どもの読書活動の推進を図るうえで最も重要だと思うことについては、63.6%の保護者が「家庭での読書習慣の定着」と回答しています。次いで、「幼稚園・保育園の図書コーナーや学校の図書室の充実」、「公共図書館の充実」の順となっています。

○はじめまして絵本事業の認知状況

- ・はじめまして絵本事業について、41.3%の保護者が「知っている」と回答しています。平成26年度から増加しているものの認知度は半数以下にとどまっており、認知を促す取り組みが必要であると考えられます。

Ⅲ 資料

Ⅲ 資料

子どもの読書活動についての聞き取り調査（小学1年生・2年生）

学 校 名	小学校
学 年	年 生
クラスの児童数	人
当日の出席児童数	人

【調査項目】

*読書意欲の調査

1	本を読むのが好きですか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人
2	学校の図書室に行くのが好きですか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人
3	絵本やおはなし（物語）が好きですか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人

*家庭での読書環境・実態の調査

4	学校以外で本を読みますか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人
5	おうちの人に、よく本を読んでもらいますか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人
6	おうちの人、よく本を読んでいますか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人
7	学校以外の図書館で本を借りたことがありますか。	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人
8	本を読みたいときに、いつでも本が近くにありますか。（学校でも家でも）	は い	人
		いいえ	人
		わからない	人

～～調査項目はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。～～

子どもの読書活動についてのアンケート(小学3年生・4年生)

No. 1

下の1から16のしつ問について、あてはまる番号を選んでください

「その他」を選んだときは、()にその内ようを書いてください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習さんこう書、マンガ、ざっしやふろく以外のものです。

問1 あなたは何年生ですか？

1. 小学3年生 2. 小学4年生

問2 あなたは読書が好きですか？

1. 好き 2. どちらかというとき好き 3. どちらかというとき嫌い 4. 嫌い

問3 あなたはどんな本を読んでいますか？(2つまで選べます。)

1. 物語(童話、昔話、小説など) 2. 伝記や歴史の本 3. 植物や動物の本
4. 科学や宇宙の本 5. 料理や手芸の本 6. スポーツや音楽の本
7. その他() 8. 読まない

問4 あなたは1か月に何さつくらい本を読みますか？(朝読や図書の時間も入れます)

1. 10さつ以上 2. 5～9さつ 3. 1～4さつ 4. 0さつ

問5 あなたは1週間のうち何日くらい本を読みますか？(朝読・図書の時間は入れません)

1. 1週間ほとんど毎日 2. 学校のある日はほとんど毎日 3. 学校のある日は2～3日
4. 休日はほとんど毎日 5. ほとんど読まない

問6 【5のしつもんで、1～4を選んだ人にお聞きします。】なぜ本を読みますか？

1. 読むのが楽しいから 2. いろんなことがわかるから 3. 先生や家族に言われるから
4. その他()

問7 【5のしつもんで、5を選んだ人にお聞きします。】本を読まない一番の理由は何ですか？

1. 読書が嫌い 2. スポーツをしたりの方が楽しい 3. テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい
4. 読みたいが勉強や習い事で読む時間がない 5. 読みたいが本の用意ができない
6. 読みたいと思う本がない 7. 何を読んでいいか、わからない
8. その他()

問8 あなたは1週間に何回くらい学校の図書室に行きますか？(じゅぎょうで行く場合も入れます。)

1. 5回以上 2. 3～4回 3. 1～2回 4. 0回

問9 学校の図書室にしてほしいことはどんなことですか？（2つまで選べます。）

1. もっといろいろな本をそろえる
2. いつでも使えるようにする
3. 借りられる本の数をふやす
4. 本を借りられる期間を長くする
5. 本の相談ができる先生がいつもいる
6. 本をさがしやすくする
7. 本のしょうかいやお知らせをする
8. 図書の時間を時間わりで決めて、図書室に行って本を読めるようにする
9. その他()

問10 あなたは学校以外の図書館に行きますか？

1. よく行く
2. 時々行く
3. あまり行かない
4. 行かない

問11 学校以外の図書館に、してほしいことはどんなことですか？（2つまで選べます。）

1. もっといろいろな本をそろえる
2. 調べ事の手助けをしてくれる
3. 借りられる本の数をふやす
4. 本を借りられる期間を長くする
5. 本をさがしやすくする
6. 本のしょうかいやお知らせをする
7. おはなし会などの行事をする
8. その他()

問12 家族は、ふだんから本を読んでいますか？

1. よく読んでいる
2. 時々読んでいる
3. あまり読んでいない
4. わからない

問13 あなたが小さいころに、家族に本をよく読んでもらいましたか？

1. よく読んでもらった
2. たまに読んでもらった
3. 読んでもらったことはない
4. おぼえていない

問14 家族に、本をよく読むように言われることがありますか？

1. よくある
2. たまにある
3. あまりない
4. ない

問15 家に自分の本がありますか？

1. 10さつよりもたくさんある
2. 10さつよりは少ないけれどある
3. ない

問16 あなたはパソコンやスマートフォンなど、紙の本以外で読書をすることがありますか？

1. 毎日
2. 週に5～6日
3. 週に3～4日
4. 週に1～2日
5. ほとんど読まない

～～ しつもんはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ～～

下の1から19の質問について、あてはまる番号を選んでください

「その他」を選んだときは、()にその内容を書いてください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付らくは除きます。

問1 あなたは何年生ですか？

1. 小学5年生 2. 小学6年生

問2 あなたは読書が好きですか？

1. 好き 2. どちらかというとき好き 3. どちらかというとき嫌い 4. 嫌い

問3 あなたはどんな本を読んでいますか？（2つまで選べます。）

1. 物語（童話、昔話、小説など） 2. 伝記や歴史の本 3. 植物や動物の本 4. 科学や宇宙の本
5. 料理や手芸の本 6. スポーツや音楽の本 7. その他（ ） 8. 読まない

問4 あなたは1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？（朝読・図書の時間を入れます）

1. 10冊以上 2. 5～9冊 3. 1～4冊 4. 0冊

問5 あなたの1日あたりの読書時間はどれくらいですか？（朝読・図書の時間は入れません）

1. 10分以内 2. 20分以内 3. 30分以内 4. 1時間未満 5. 1時間以上 6. 読まない

問6 あなたは1週間のうち何日くらい本を読みますか？（朝読・図書の時間は入れません）

1. 1週間のほとんど毎日 2. 学校のある日はほとんど毎日 3. 学校のある日は2～3日
4. 休日はほとんど毎日 5. ほとんど読まない

問7 【問6で、1～4を選んだ人にお聞きします。】なぜ本を読みますか？

1. いろいろ想像するのが楽しいから 2. 自分の考えが広がったり深まったりするから
3. 新しい知識を得ることができるから 4. 先生や家族に言われるから
5. その他（ ）

問8 【問6で、5を選んだ人にお聞きします。】本を読まない一番の理由は何ですか？

1. 読書が嫌い 2. スポーツをしたりする方が楽しい 3. テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい
4. 読みたいが勉強や習い事があって読む時間がない 5. 読みたいが本の用意ができない
6. 読みたいと思う本がない 7. 何を読んでいいかわからない
8. その他（ ）

問9 あなたは1週間に何回くらい学校の図書室を利用しますか？（授業で行く場合を入れます。）

1. 5回以上 2. 3～4回 3. 1～2回 4. 0回

- 問10 学校の図書室に、期待することはどんなことですか？（2つまで選べます。）
 1. もっといろいろな本をそろえる 2. いつでも利用できるようにする 3. 借りられる本の数をふやす
 4. 本を借りられる期間を長くする 5. 本の相談ができる先生がいつもいる 6. 本をさがしやすくする
 7. 本のしょうかいやお知らせをする 8. 図書の時間を時間割で決めて、図書室に行って本を読めるようにする
 9. その他（ ）
- 問11 あなたは学校以外の図書館を利用することがありますか？
 1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 利用しない
- 問12 【学校以外の図書館を利用しない人にお聞きします。】利用しない理由は何ですか？
 1. 図書館が家の近くにない 2. いそがしくて図書館に行く時間がない
 3. 図書館に読みたい本がない 4. 学校の図書室の方が利用しやすい 5. 読みたい本は買って読む
 6. その他（ ）
- 問13 学校以外の図書館に、期待することはどんなことですか？（2つまで選べます。）
 1. もっといろいろな本をそろえる 2. 雑誌をたくさんそろえる 3. 調べ学習の手助けがしてもらえる
 4. 借りられる本の数をふやす 5. 本を借りられる期間を長くする 6. 本をさがしやすくする
 7. 本のしょうかいやお知らせをする 8. おはなし会などの行事をする
 9. その他（ ）
- 問14 家族は、ふだんから本を読んでいますか？
 1. よく読んでいる 2. 時々読んでいる 3. あまり読んでいない 4. わからない
- 問15 あなたが小さいころに、家族に本をよく読んでもらいましたか？
 1. よく読んでもらった 2. たまに読んでもらった 3. 読んでもらったことはない 4. ^{おぼ}覚えていない
- 問16 家族と本のことについて話しをすることがありますか？
 1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. ない
- 問17 家族に本をよく読むように言われることがありますか？
 1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. ない
- 問18 家に自分の本がありますか？
 1. ある（10冊以上） 2. ある（1～9冊） 3. ない
- 問19 あなたはパソコンやスマートフォンなど、紙の本以外で読書をすることがありますか？
 1. 毎日 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日 5. ほとんど読まない
 ～～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ～

子どもの読書活動についてのアンケート(中学生)

No. 1

下の(ア)から(テ)の質問について、あてはまる番号を選んでください。

「その他」を選んだ場合は、()にその内容を書いてください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付録は除きます。

(ア) あなたは何年生ですか？

1. 中学1年生 2. 中学2年生 3. 中学3年生

(イ) あなたは読書が好きですか？

1. 好き 2. どちらかというと好き 3. どちらかというと嫌い 4. 嫌い

(ウ) あなたはどんな本を読んでいますか？(2つまで選べます。)

1. 物語(小説、ライトノベルなど) 2. 歴史、伝記の本 3. 植物や動物の本 4. 科学や宇宙の本
5. 料理や手芸の本 6. スポーツや音楽の本 7. 哲学、心理学の本
8. その他() 9. 読まない

(エ) あなたは1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？(朝読を含む)

1. 10冊以上 2. 5～9冊 3. 1～4冊 4. 0冊

(オ) あなたの1日あたりの読書時間はどれくらいですか？(朝読は含まない)

1. 10分以内 2. 20分以内 3. 30分以内 4. 1時間未満 5. 1時間以上 6. 読まない

(カ) あなたは1週間のうち何日くらい本を読みますか？(朝読は含まない)

1. 毎日 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日 5. ほとんど読まない

(キ) 【問力で、1～4を選んだ人にお聞きします。】なぜ本を読みますか？

1. いろいろ想像するのが楽しいから 2. 自分の考えが広がったり深まったりするから
3. 新しい知識を得ることができるから 4. 先生や家族に言われるから
5. その他()

(ク) 【問力で5を選んだ人にお聞きします。】本を読まない一番の理由は何ですか？

1. 読書が嫌い 2. スポーツをしたりする方が楽しい 3. テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい
4. 読みたいが勉強のため読む時間がない 5. 読みたいが部活動のため読む時間がない
6. 読みたいが、本の用意ができない 7. 読みたいと思う本がない 8. 何を読んでいいかわからない
9. その他()

(ケ) あなたは1週間に何回くらい学校の図書室を利用しますか？

1. 5回以上 2. 3～4回 3. 1～2回 4. 0回

(コ) 学校の図書室に、期待することはどんなことですか？(2つまで選べます。)

1. もっといろいろな本をそろえる
2. いつでも利用できるようにする
3. 借りられる本数を増やす
4. 本を借りられる期間を長くする
5. 本の相談ができる先生がいつもいる
6. 本をさがしやすくする
7. 本の紹介や情報を知らせる
8. その他 ()

(サ) あなたは学校以外の図書館を利用することがありますか？

1. よく利用する
2. 時々利用する
3. あまり利用しない
4. ほとんど、または全く利用しない

(シ) 【学校以外の図書館を利用しない人にお聞きします。】利用しない理由は何ですか？

1. 図書館が家の近くにない
2. いそがしくて図書館に行く時間がない
3. 図書館に読みたい本がない
4. 学校の図書室の方が利用しやすい
5. 読みたい本は買って読む
6. その他 ()

(ス) 学校以外の図書館に、期待することはどんなことですか？(2つまで選べます。)

1. もっといろいろな本をそろえる
2. 雑誌をたくさんそろえる
3. 調べ学習の手助けがしてもらえる
4. 借りられる本数を増やす
5. 本を借りられる期間を長くする
6. 本をさがしやすくする
7. 本の紹介や情報を知らせる
8. 中学生を対象にした行事をする
9. その他 ()

(セ) 家族は、ふだんから本を読んでいますか？

1. よく読んでいる
2. 時々読んでいる
3. あまり読んでいない
4. わからない

(ソ) あなたが小さいころに、家族に本をよく読んでもらいましたか？

1. よく読んでもらった
2. たまに読んでもらった
3. 読んでもらったことはない
4. 覚えていない

(タ) 家族と本のことについて話しをすることがありますか？

1. よくある
2. たまにある
3. あまりない
4. ほとんど、または全くない

(チ) 家族に本をよく読むように言われることがありますか？

1. よくある
2. たまにある
3. あまりない
4. ほとんど、または全くない

(ツ) 家に自分の本を持っていますか？

1. ある(50冊以上)
2. ある(10~49冊)
3. ある(10冊未満)
4. ない

(テ) あなたはパソコンやスマートフォンなど、紙の本以外で読書をすることがありますか？

1. 毎日
 2. 週に5~6日
 3. 週に3~4日
 4. 週に1~2日
 5. ほとんど読まない
- ~~ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ~~

子どもの読書活動についてのアンケート(高校生)

No. 1

下の(ア)から(テ)の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

「その他」を選んだ場合は、()にその内容を書いてください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付録は除きます。

*住んでいる地区(町)

1. 加古川町 2. 神野町・新神野・西条山手・山手 3. 野口町 4. 平岡町 5. 尾上町 6. 別府町
7. 八幡町 8. 平荘町 9. 上荘町 10. 東神吉町 11. 西神吉町 12. 米田町 13. 志方町
14. その他 a 高砂市 b 播磨町 c 稲美町 d その他加古川市外()

(ア) あなたは何年生ですか？

1. 高校1年生 2. 高校2年生 3. 高校3年生

(イ) あなたは読書が好きですか？

1. 好き 2. どちらかという好き 3. どちらかという嫌い 4. 嫌い

(ウ) あなたはどんな本を読んでいますか？(2つまで選べます。)

1. 物語(小説、ライトノベルなど) 2. 歴史、伝記の本 3. 植物や動物の本 4. 科学や宇宙の本
5. 料理や手芸の本 6. スポーツや音楽の本 7. 哲学、心理学の本
8. その他() 9. 読まない

(エ) あなたは1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？(朝読を含む)

1. 10冊以上 2. 5～9冊 3. 1～4冊 4. 0冊

(オ) あなたの1日あたりの読書時間はどれくらいですか？(朝読は含まない)

1. 10分以内 2. 20分以内 3. 30分以内 4. 1時間未満 5. 1時間以上 6. 読まない

(カ) あなたは1週間のうち何日くらい本を読みますか？(朝読は含まない)

1. 毎日 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日 5. ほとんど読まない

(キ)【問力で、1～4を選んだ人にお聞きします。】なぜ本を読みますか？

1. いろいろ想像するのが楽しいから 2. 自分の考えが広がったり深まったりするから
3. 新しい知識を得ることができるから 4. 先生や家族に言われるから
5. その他()

(ク)【問力で5を選んだ人にお聞きします。】本を読まない一番の理由は何ですか？

1. 読書が嫌い 2. スポーツをしたりする方が楽しい 3. テレビやゲームで遊ぶ方が楽しい
4. 読みたいが勉強のため読む時間がない 5. 読みたいが部活動のため読む時間がない
6. 読みたいが、本の用意ができない 7. 読みたいと思う本がない 8. 何を読んでいいかわからない
9. その他()

No. 2

1. 5回以上 2. 3~4回 3. 1~2回 4. 0回

1. もっといろいろな本をそろえる 2. いつでも利用できるようにする 3. 借りられる本の数を増やす
4. 本を借りられる期間を長くする 5. 本の相談ができる先生がいつもいる 6. 本をさがしやすくする
7. 本の紹介や情報を知らせる
8. その他（ ）

1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. ほとんど、または全く利用しない

1. 図書館が家の近くにない 2. いそがしくて図書館に行く時間がない 3. 図書館に読みたい本がない
4. 学校の図書室の方が利用しやすい 5. 読みたい本は買って読む
6. その他（ ）

1. もっといろいろな本をそろえる 2. 雑誌をたくさんそろえる 3. 調べ学習の手助けがしてもらえる
4. 借りられる本の数を増やす 5. 本を借りられる期間を長くする 6. 本をさがしやすくする
7. 本の紹介や情報を知らせる 8. 高校生を対象にした行事をする
9. その他（ ）

1. よく読んでいる 2. 時々読んでいる 3. あまり読んでいない 4. わからない

1. よく読んでもらった 2. たまに読んでもらった 3. 読んでもらったことはない 4. 覚えていない

1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. ほとんど、または全くない

1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. ほとんど、または全くない

1. ある (50 冊以上) 2. ある (10~49 冊) 3. ある (10 冊未満) 4. ない

1. 毎日 2. 週に5~6日 3. 週に3~4日 4. 週に1~2日 5. ほとんど読まない

– 57 –

子どもの読書活動実態調査アンケート

(保護者用－養護学校) No.1

【趣旨】

このアンケート調査は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、加古川市における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するうえで、市内の児童・生徒の読書活動の実態を把握するために行うものです。ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【回答方法】

アンケートの質問に対して、該当する番号に○をつけてください。

また、「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）内に記入してください。

問8については、枠内にご自由にご記入ください

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付録は除きます。

(電子書籍は、本に含みます。)

【提出期限】 7月18日(火)までに担任の先生にお渡しください。

【問合せ先】 このアンケート調査について、わからないところがありましたら、加古川市立中央図書館(電話：079-425-5200)までご連絡ください。

* あなたの年齢

1. 25歳未満 2. 25歳以上30歳未満 3. 30歳以上40歳未満 4. 40歳以上

* 住んでいる地区(町)

1. 加古川町 2. 神野町・新神野・西条山手・山手 3. 野口町 4. 平岡町 5. 尾上町 6. 別府町
7. 八幡町 8. 平荘町 9. 上荘町 10. 東神吉町 11. 西神吉町 12. 米田町 13. 志方町
14. その他 a 高砂市 b 播磨町 c 稲美町 d その他加古川市外()

* お子さまの学年

1. 幼稚園 2. 小学部(1～3年) 3. 小学部(4～6年) 4. 中学部 5. 高等部

問1 子どもの成長において読書は重要だと考えますか？

1. とても重要だと思う 2. まあまあ重要だと思う 3.それほど重要とは思わない 4. わからない

問2 あなたのお子さんは、どのような本に興味がありますか？

1. 絵本 2. 物語(童話、昔話など) 3. 動物や乗り物などの図鑑 4. わからない

問3 あなたは日ごろから本を読みますか？

1. よく読む 2. 時々読む 3. あまり読まない 4. ほとんどまたは全く読まない

子どもの読書活動実態調査アンケート

(保護者用－養護学校) No.2

問4 ご家庭に子どもの本がありますか？

1. たくさんある 2. いくらかはある 3. ない

問5 お子さまの読書のための本は、どのようにして用意されることが多いですか？（2つ以内）

1. 公共図書館で借りる 2. 自分で買う 3. 人から譲ってもらう
4. その他 ()

問6 お子さまに、よく絵本の読み聞かせをしますか？

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない 4. ほとんど、または全くしない

問7 お子さまは本を読むのが好きだと思いますか？

1. 好きだと思う 2. どちらかという好きだと思う
3. どちらかという嫌いだと思う 4. 嫌いだと思う

問8 子どもの読書活動を推進していくうえでの課題はどんなことだと思われますか？

～～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ～～

加古川市立中央図書館

子どもの読書活動実態調査アンケート

(5歳児保護者用－幼稚園・保育園・認定こども園) No.1

【趣旨】

このアンケート調査は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、加古川市における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するうえで、市内の子どもの読書活動の実態を把握するために行うものです。ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【回答方法】

アンケートの質問に対して、該当する番号に○をつけてください。

また、「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）内に記入してください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付録は除きます。

(電子書籍は、本に含みます。)

【提出期限】 7月18日(火)までに、担任の先生にお渡しください。

【問合せ先】 このアンケート調査について、わからないところがありましたら、加古川市立中央図書館(電話：079-425-5200)までご連絡ください。

* あなたの年齢

1. 25歳未満 2. 25歳以上30歳未満 3. 30歳以上40歳未満 4. 40歳以上

* 住んでいる地区(町)

1. 加古川町 2. 神野町・新神野・西条山手・山手 3. 野口町 4. 平岡町 5. 尾上町 6. 別府町
7. 八幡町 8. 平荘町 9. 上荘町 10. 東神吉町 11. 西神吉町 12. 米田町 13. 志方町
14. その他 a 高砂市 b 播磨町 c 稲美町 d その他加古川市外()

* お子さまは何人いらっしゃいますか？

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問1 子どもの読解力、想像力、表現力を育て、感性を磨くうえで読書は重要だと考えますか？

1. とても重要だと思う 2. まあまあ重要だと思う 3.それほど重要とは思わない 4. わからない

問2 あなたのお子さんは、どのような本に興味がありますか？

1. 絵本 2. 物語(童話、昔話など) 3. 動物や乗り物などの図鑑 4. わからない

問3 あなたは日ごろから本を読みますか？

1. よく読む 2. 時々読む 3. あまり読まない 4. ほとんどまたは全く読まない

子どもの読書活動実態調査アンケート

(5歳児保護者用－幼稚園・保育園・認定こども園) No.2

- 問4 ご家庭に子どもの本がありますか？
1. たくさんある 2. いくらかはある 3. ない
- 問5 お子さまの読書のための本は、どのようにして用意されることが多いですか？(2つ以内)
1. 幼稚園や保育園で借りる 2. 公共図書館で借りる 3. 自分で買う 4. 人から譲ってもらう
5. その他 ()
- 問6 お子さまに、よく絵本の読み聞かせをしますか？
1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない 4. ほとんど、または全くしない
- 問7 お子さまに本を読んでほしいとせがまれることがありますか？
1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない 4. ほとんど、または全くない
- 問8 お子さまの読書活動のために公共図書館に望むことはどんなことですか？(2つ以内)
1. たくさん本をそろえる 2. 貸出冊数を増やす 3. 子どもの本の紹介や情報を知らせる
4. おはなし会や読み聞かせなどの開催
5. 子どもの興味を引くような飾りつけなど子どもが利用しやすい雰囲気づくり
6. その他()
- 問9 子どもの読書活動の推進を図るうえで、最も重要だと思うものはどれですか？
1. 家庭での読書習慣の定着 2. 公共図書館の充実
3. 幼稚園・保育園の図書コーナーや学校図書室の充実
4. その他 ()
- 問10 加古川市が4ヶ月健診時に実施している、はじめまして絵本事業についてご存知ですか？
(はじめまして絵本事業：4ヶ月健診時に、赤ちゃんのための絵本リスト「はじめまして絵本」を配付し、保護者の方に読み聞かせの効用を説明・PRしています。)
1. 知っている 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない 3. 知らない

～～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ～～

加古川市立中央図書館

子どもの読書活動実態調査アンケート

(就学前の子どもを持つ保護者用ー子育てプラザ・児童館) No.1

【趣旨】

このアンケート調査は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、加古川市における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するうえで、市内の子どもの読書活動の実態を把握するために行うものです。ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【回答方法】

アンケートの質問に対して、該当する番号に○をつけてください。

また、「その他」を選んだ場合は、その内容を()内に記入してください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付録は除きます。

(電子書籍は、本に含みます。)

【回収期限と提出先】 7月18日(火)までに、下記のいずれかの施設の窓口へお持ちください。

・加古川駅南子育てプラザ ・東加古川子育てプラザ ・志方児童館

【問合せ先】 このアンケート調査について、わからないところがありましたら、加古川市立中央図書館(電話：079-425-5200)までご連絡ください。

* あなたの年齢

1. 25歳未満 2. 25歳以上30歳未満 3. 30歳以上40歳未満 4. 40歳以上

* 住んでいる地区(町)

1. 加古川町 2. 神野町・新神野・西条山手・山手 3. 野口町 4. 平岡町 5. 尾上町 6. 別府町
7. 八幡町 8. 平荘町 9. 上荘町 10. 東神吉町 11. 西神吉町 12. 米田町 13. 志方町
14. その他 a 高砂市 b 播磨町 c 稲美町 d その他加古川市外()

* お子さまは何人いらっしゃいますか？

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問1 子どもの読解力、想像力、表現力を育て、感性を磨くうえで読書は重要だと考えますか？

1. とても重要だと思う 2. まあまあ重要だと思う 3.それほど重要とは思わない 4. わからない

問2 あなたのお子さんは、どのような本に興味がありますか？

1. 絵本 2. 物語(童話、昔話など) 3. 動物や乗り物などの図鑑 4. わからない

問3 あなたは日ごろから本を読みますか？

1. よく読む 2. 時々読む 3. あまり読まない 4. ほとんどまたは全く読まない

子どもの読書活動実態調査アンケート

(就学前の子どもを持つ保護者用ー子育てプラザ・児童館) No.2

- 問4 ご家庭に子どもの本がありますか？
1. たくさんある 2. いくらかはある 3. ない
- 問5 お子さまの読書のための本は、どのようにして用意されることが多いですか？（2つ以内）
1. 幼稚園や保育園で借りる 2. 公共図書館で借りる 3. 自分で買う 4. 人から譲ってもらう
5. その他（ ）
- 問6 お子さまに、よく絵本の読み聞かせをしますか？
1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない 4. ほとんど、または全くしない
- 問7 お子さまに本を読んでほしいとせがまれることがありますか？
1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない 4. ほとんど、または全くない
- 問8 お子さまの読書活動のために公共図書館に望むことはどんなことですか？（2つ以内）
1. たくさん本をそろえる 2. 貸出冊数を増やす 3. 子どもの本の紹介や情報を知らせる
4. おはなし会や読み聞かせなどの開催
5. 子どもの興味を引くような飾りつけなど子どもが利用しやすい雰囲気づくり
6. その他（ ）
- 問9 子どもの読書活動の推進を図るうえで、最も重要だと思うものはどれですか？
1. 家庭での読書習慣の定着 2. 公共図書館の充実
3. 幼稚園・保育園の図書コーナーや学校図書室の充実
4. その他（ ）
- 問10 加古川市が4ヶ月健診時に実施している、はじめまして絵本事業についてご存知ですか？
（はじめまして絵本事業：4ヶ月健診時に、赤ちゃんのための絵本リスト「はじめまして絵本」を配付し、保護者の方に読み聞かせの効用を説明・PRしています。）
1. 知っている 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない 3. 知らない

～～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ～～

加古川市立中央図書館

子どもの読書活動実態調査アンケート

(就学前の子どもを持つ保護者用－図書館) No.1

【趣旨】

このアンケート調査は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、加古川市における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するうえで、市内の子どもの読書活動の実態を把握するために行うものです。ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【回答方法】

アンケートの質問に対して、該当する番号に○をつけてください。

また、「その他」を選んだ場合は、その内容を()内に記入してください。

※なお、このアンケートで「本」というのは、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌や付録は除きます。

(電子書籍は、本に含みます。)

【回収期限と提出先】 7月18日(火)までに、下記のいずれかの図書館の窓口へお持ちください。

- ・加古川市立中央図書館 ・加古川市立加古川図書館
- ・加古川ウェルネスパーク図書館 ・加古川海洋文化センター図書室

【問合せ先】 このアンケート調査について、わからないところがありましたら、加古川市立中央図書館(電話：079-425-5200)までご連絡ください。

* あなたの年齢

1. 25歳未満 2. 25歳以上30歳未満 3. 30歳以上40歳未満 4. 40歳以上

* 住んでいる地区(町)

1. 加古川町 2. 神野町・新神野・西条山手・山手 3. 野口町 4. 平岡町 5. 尾上町 6. 別府町
7. 八幡町 8. 平荘町 9. 上荘町 10. 東神吉町 11. 西神吉町 12. 米田町 13. 志方町
14. その他a高砂市 b播磨町 c稲美町 dその他加古川市外()

* お子さまは何人いらっしゃいますか？

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問1 子どもの読解力、想像力、表現力を育て、感性を磨くうえで読書は重要だと考えますか？

1. とても重要だと思う 2. まあまあ重要だと思う 3.それほど重要とは思わない 4. わからない

問2 あなたのお子さんは、どのような本に興味がありますか？

1. 絵本 2. 物語(童話、昔話など) 3. 動物や乗り物などの図鑑 4. わからない

問3 あなたは日ごろから本を読みますか？

1. よく読む 2. 時々読む 3. あまり読まない 4. ほとんどまたは全く読まない

子どもの読書活動実態調査アンケート

(就学前の子どもを持つ保護者用－図書館) No.2

- 問4 ご家庭に子どもの本がありますか？
1. たくさんある 2. いくらかはある 3. ない
- 問5 お子さまの読書のための本は、どのようにして用意されることが多いですか？(2つ以内)
1. 幼稚園や保育園で借りる 2. 公共図書館で借りる 3. 自分で買う 4. 人から譲ってもらう
5. その他 ()
- 問6 お子さまに、よく絵本の読み聞かせをしますか？
1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない 4. ほとんど、または全くしない
- 問7 お子さまに本を読んでほしいとせがまれることがありますか？
1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない 4. ほとんど、または全くない
- 問8 お子さまの読書活動のために公共図書館に望むことはどんなことですか？(2つ以内)
1. たくさん本をそろえる 2. 貸出冊数を増やす 3. 子どもの本の紹介や情報を知らせる
4. おはなし会(ストーリーテリング(おはなし)や読み聞かせ)など子ども向けの事業の
開催
5. 子どもの興味を引くような飾りつけなど子どもが利用しやすい雰囲気づくり
6. その他
()
- 問9 子どもの読書活動の推進を図るうえで、最も重要だと思うものはどれですか？
1. 家庭での読書習慣の定着 2. 公共図書館の充実
3. 幼稚園・保育園の図書コーナーや学校の図書室の充実
4. その他 ()
- 問10 加古川市が4ヶ月健診時に実施している、はじめまして絵本事業についてご存知ですか？
(はじめまして絵本事業：4ヶ月健診時に、赤ちゃんのための絵本リスト「はじめまして絵本」を配付し、保護者の方に読み聞かせの効用を説明・PRしています。)
1. 知っている 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない 3. 知らない

～～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 ～～

加古川市立中央図書館

令和5年度
子どもの読書活動実態調査アンケート
調査報告書

発行年：令和6年（2024年）2月
発行：加古川市教育委員会 教育指導部 中央図書館
〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1224-7
電話（079）425-5200

